



JMAICMT

遠絡統合療法

治療ラインとポイント 図説

一般社団法人 日本遠絡統合医学会

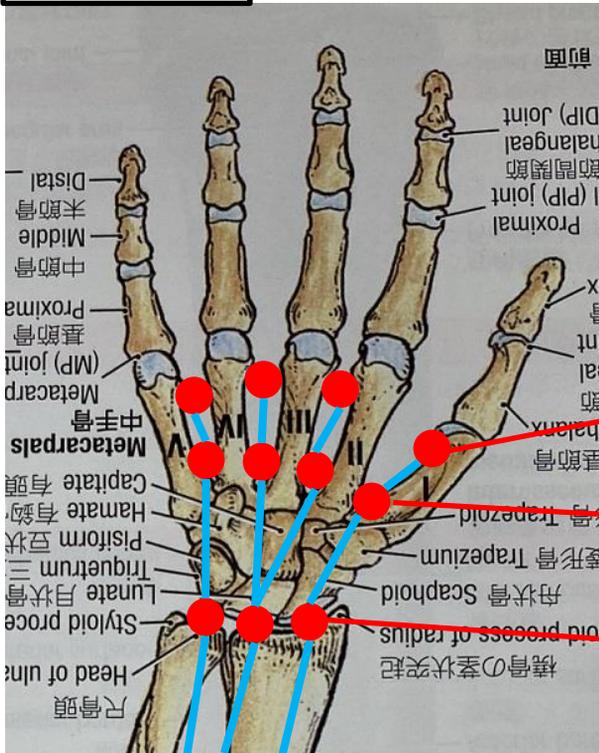
※注意事項

本資料は当会会員および当会セミナー受講者の参照用としてのみ使用ください。

上記外への配布・配信等は禁止します。

レベルの目安 (手のレベル c~a)

手掌側



中手骨骨頭のキワ

c

中手骨基部のキワ

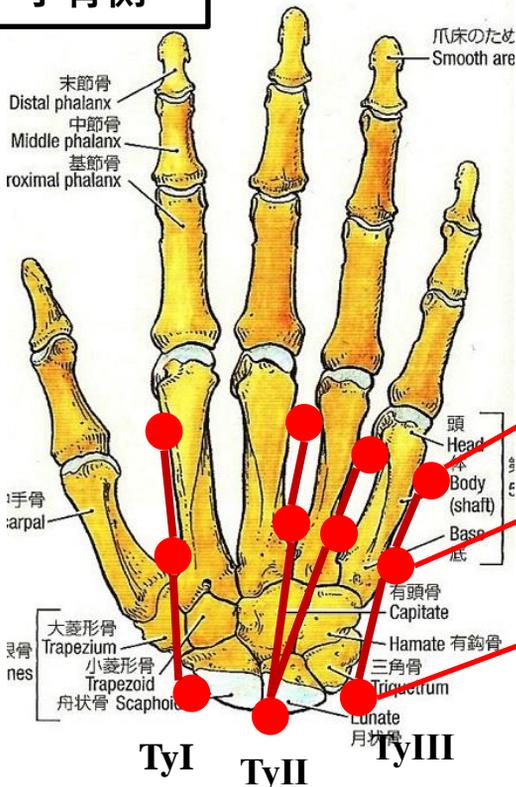
bc

手関節の間隙

a

TxIII TxII TxI

手背側



中手骨骨頭のキワ

c

中手骨基部のキワ

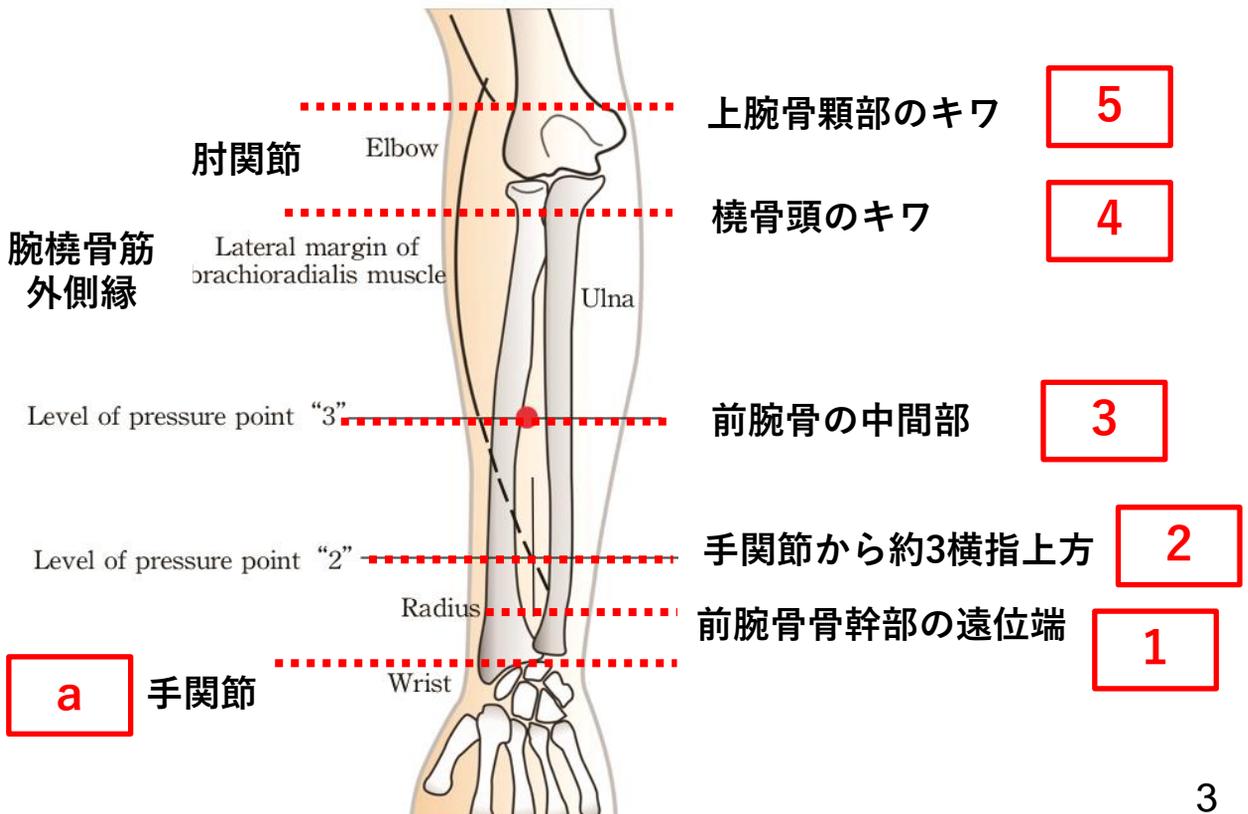
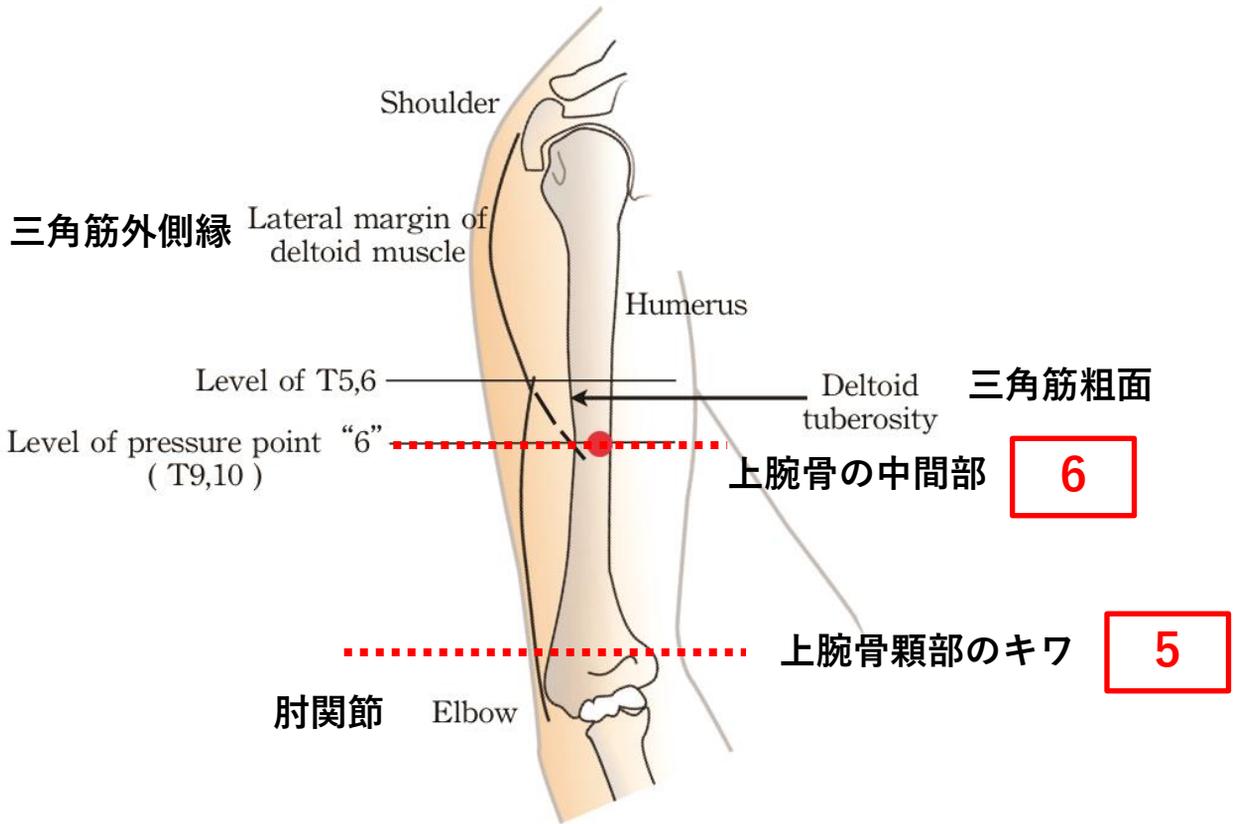
bc

手関節の間隙

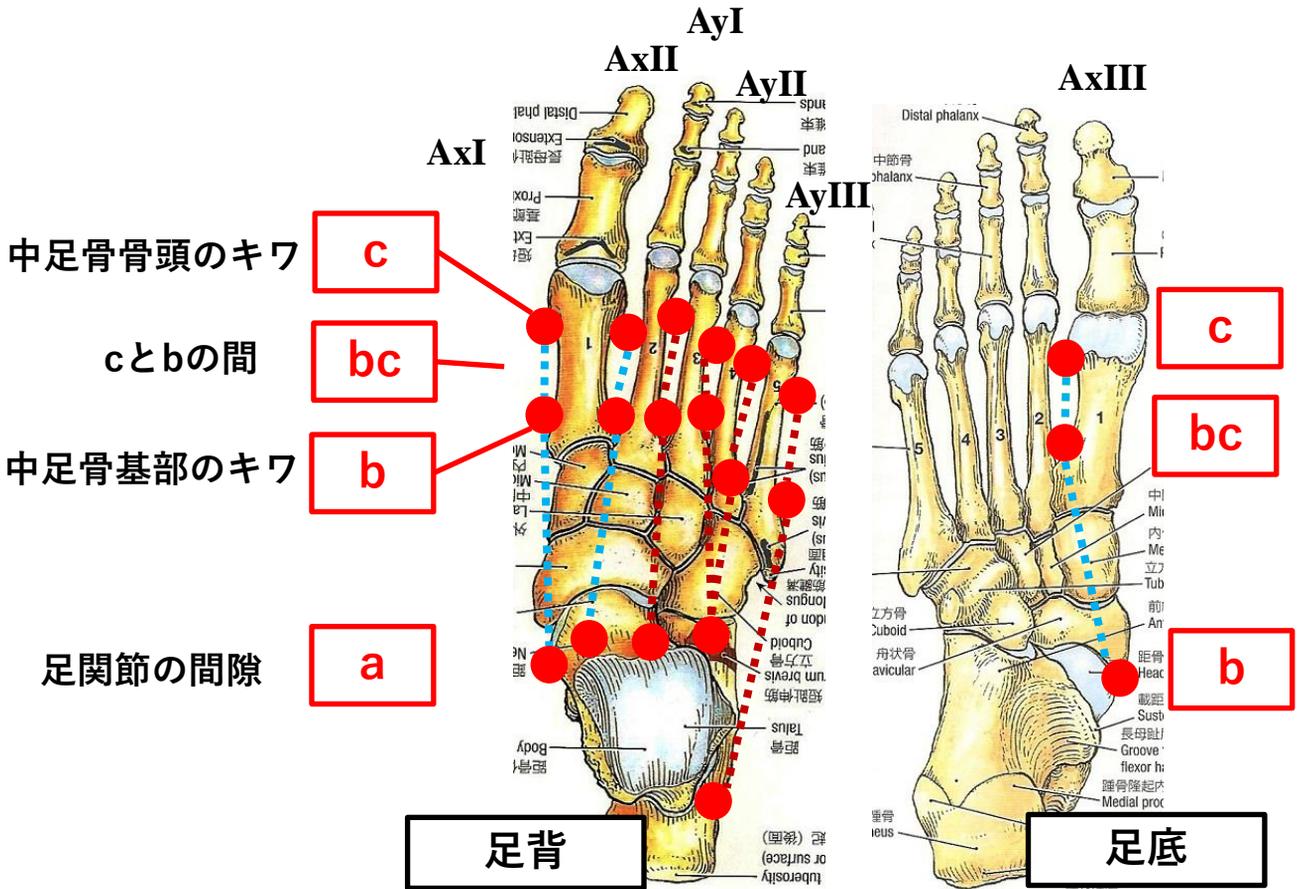
a

TyI TyII TyIII

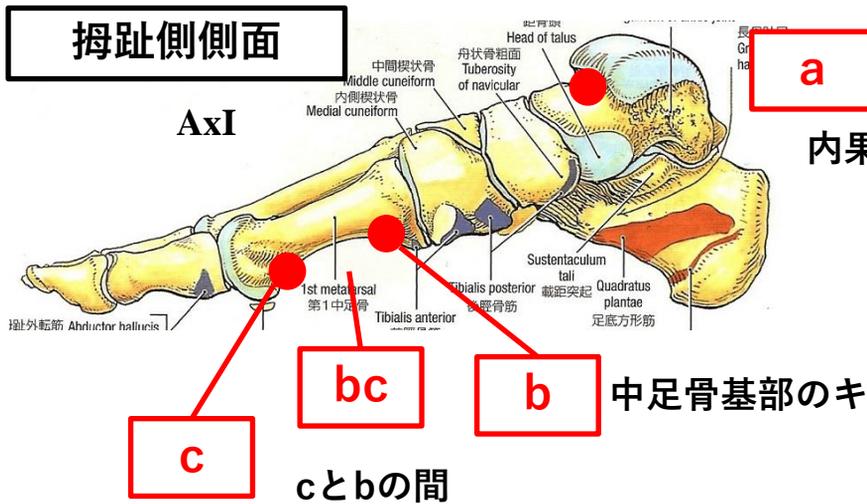
レベルの目安（上肢レベル a~6）



レベルの目安 (足のレベル c~a)

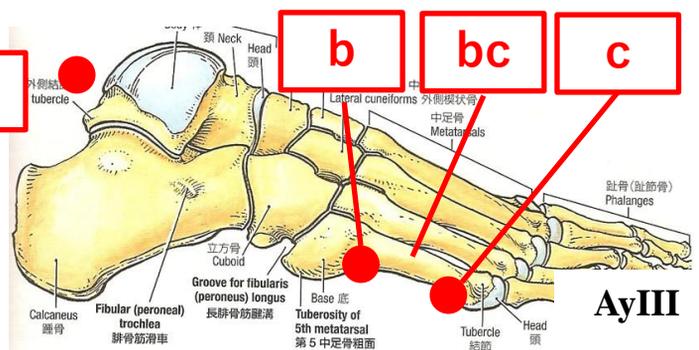


※AxIIIはbcとbの位置が他のラインと異なる

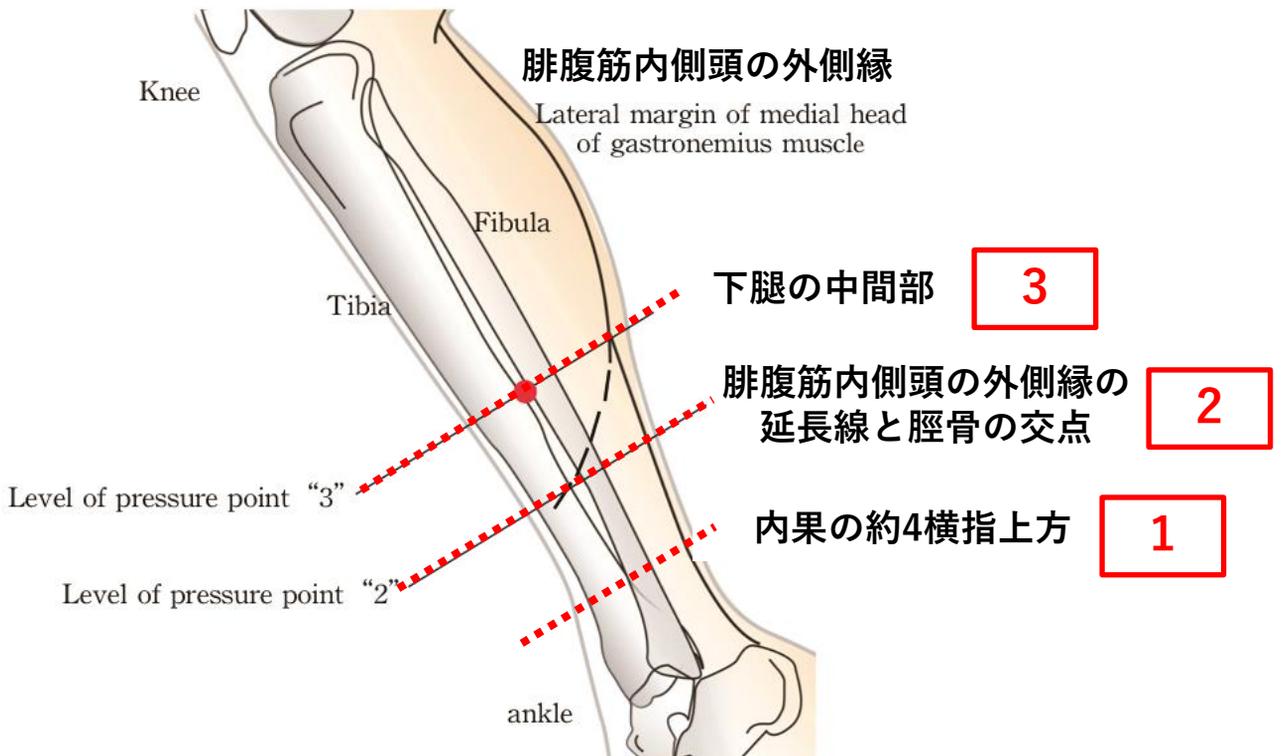
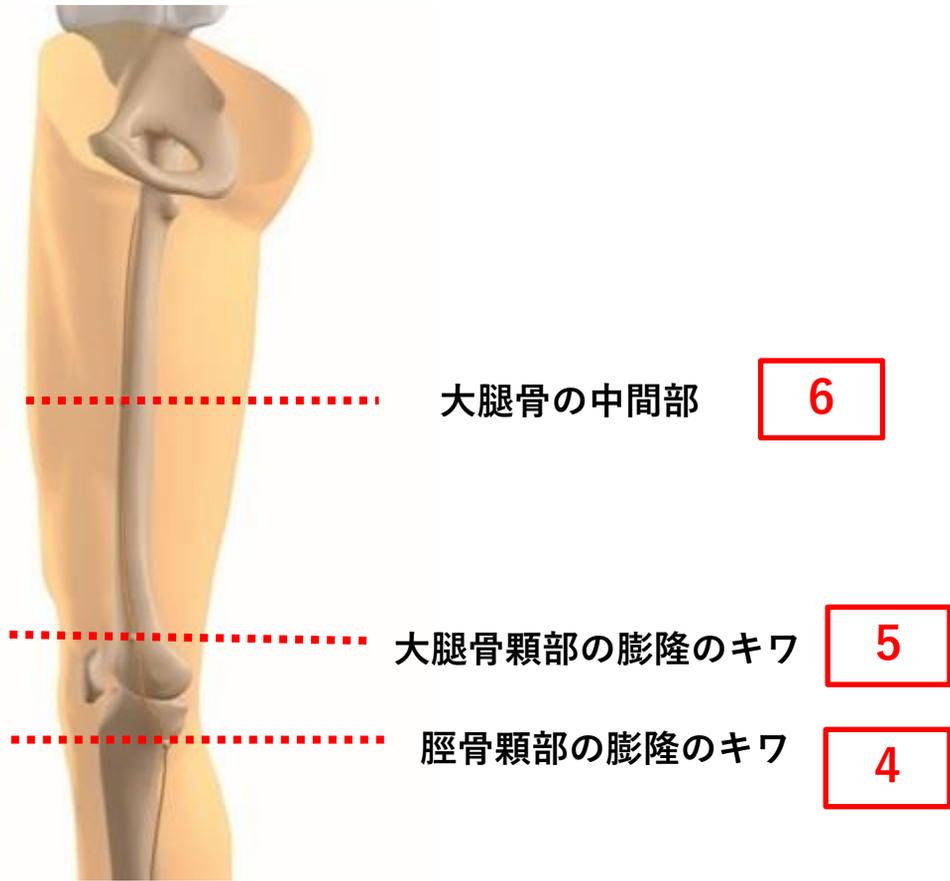


中足骨骨頭のキワ

外果の後縁



レベルの目安 (足のレベル 1~6)



下肢のポイントを取る際の肢位（座位）

患者に余計な力が入らず、術者が押しやすい肢位をとらせることは、正確な手技を行う際のコツです

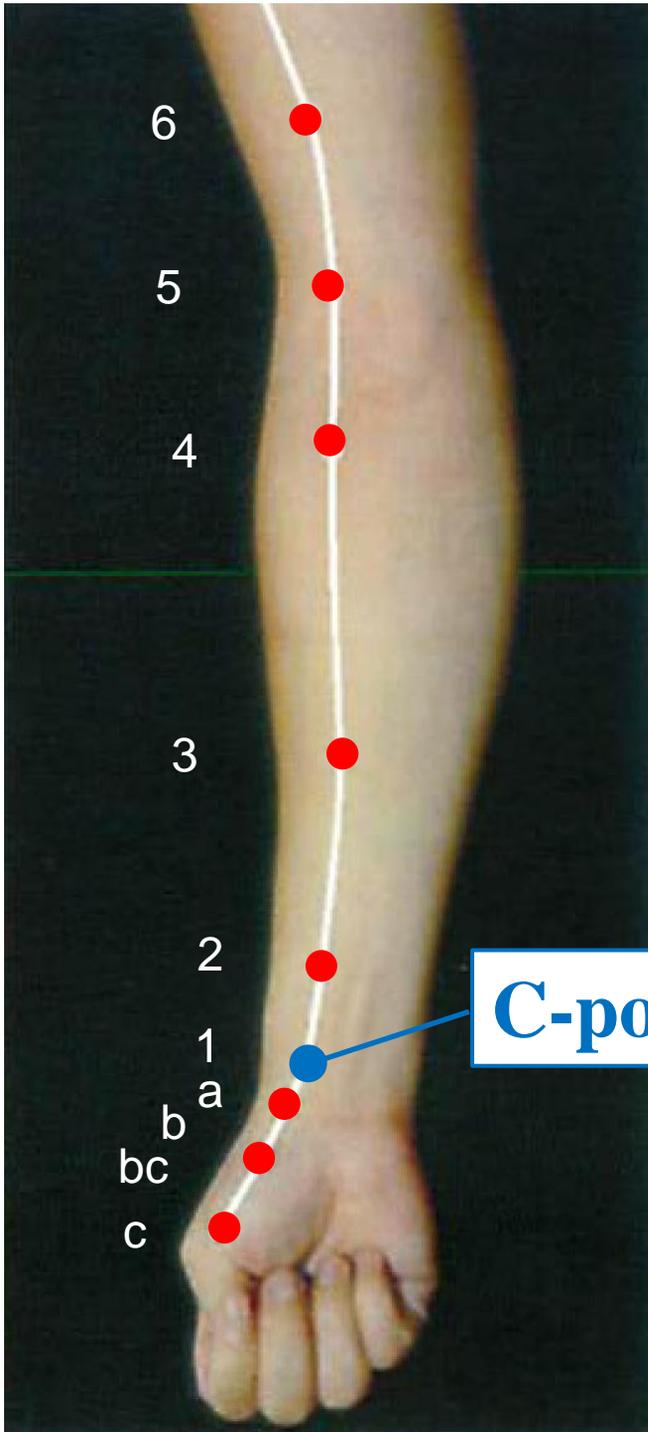


陰経を取る際には、
股関節外転位として、で
きるだけ足関節の力を抜
いてもらう

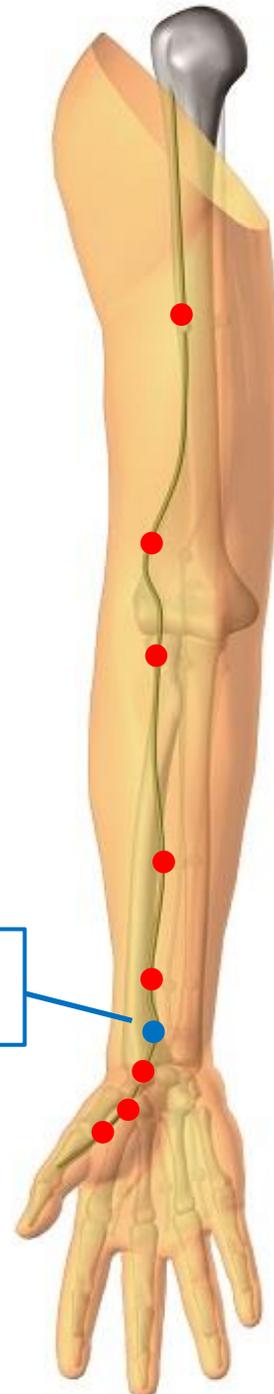


陽経を取る際には、
股関節中間位として、下
腿をまっすぐに立てても
もらう

TxI



C-point



前腕回外位で力を抜いてもらう

6

押し棒：太の細

上腕腹側面の上腕骨の中間、または三角筋粗面下方の陥凹部の高さ。
上腕二頭筋の外側縁から、上腕二頭筋の直下、上腕骨前内側面に向かって押圧する。



前腕回外位で力を抜いてもらう

5

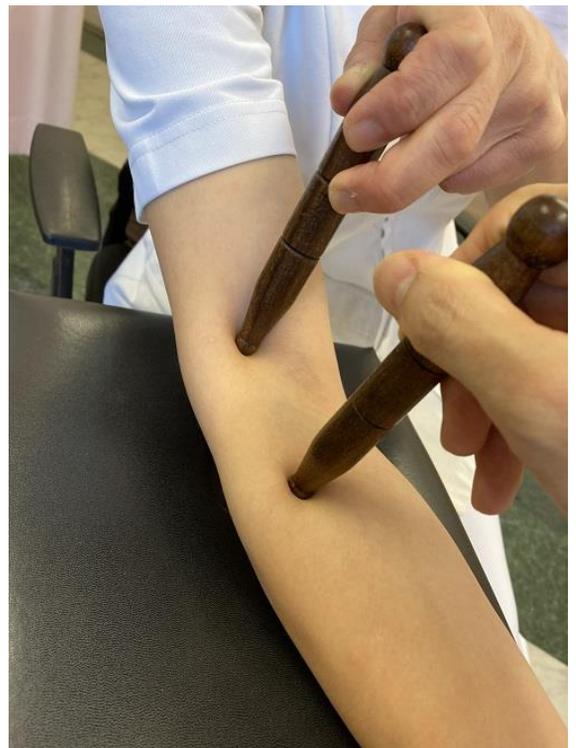
押し棒：太の細

肘関節の上方、上腕腹側面。
上腕筋腱の内側から、上腕骨外側上顆のキワを押圧する。

4

押し棒：太の細

肘関節の下方、前腕腹側面。
腕橈骨筋の内側縁から、橈骨頸部の外側に向かって押圧する。



前腕回外位で力を抜いてもらう

3

押し棒：太の細

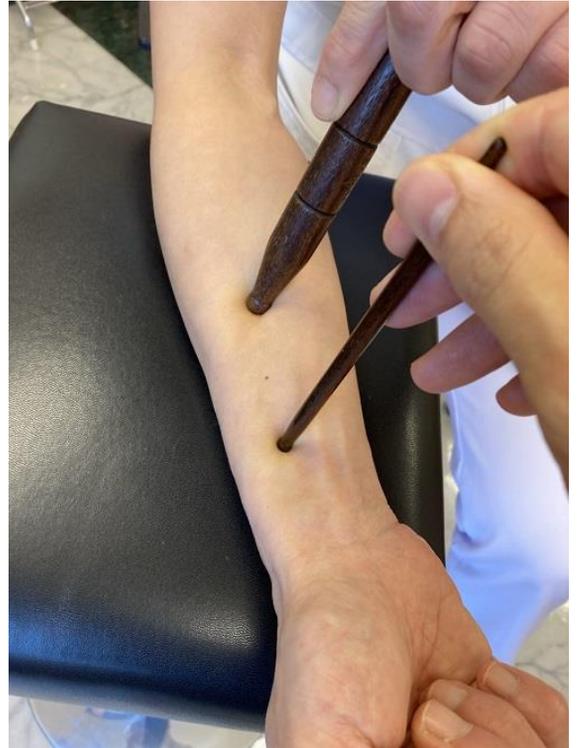
前腕腹側面の中間部、腕橈骨筋の筋腱移行部の位置。

腕橈骨筋の外側又は内側の縁（前腕組織の位置関係による）で、浅指屈筋外側縁と腕橈骨筋の間の陥凹を押圧する。

2

押し棒：細の太

手関節から約3横指上方、または長拇指屈筋の筋腱移行部の高さ。
長拇指屈筋と橈骨内側縁の間を押圧する。



親指を軽く握りこませる

1

押し棒：太の細

C-point

手関節のやや上方。

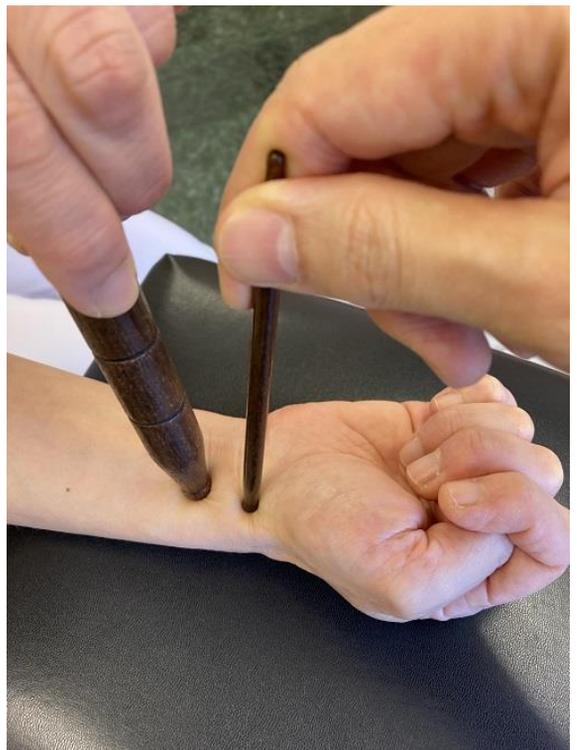
橈骨遠位端掌側の骨の膨隆の遠位内側のキワを押圧する。

a

押し棒：細の太

手関節掌側面の間隙。

橈側手根屈筋腱の外側縁で、手関節部で掌背屈時に最も陥凹する所を押圧する。



親指を軽く握りこませる

bc

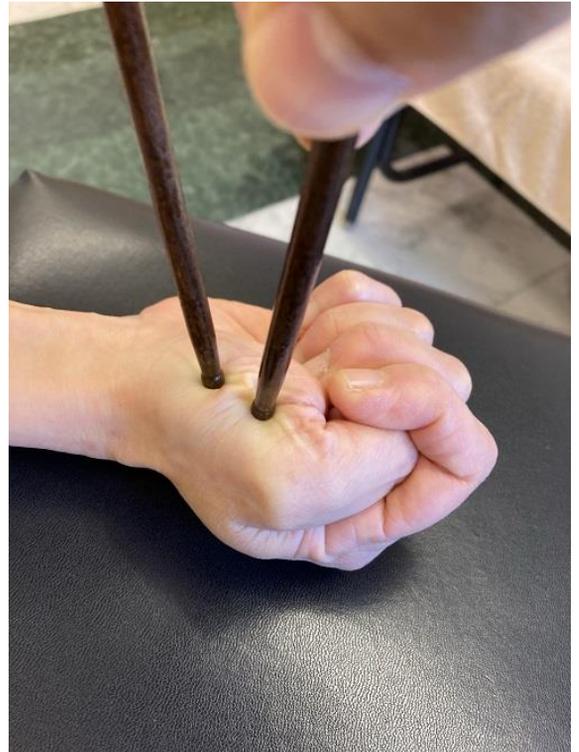
押し棒：細の太

第1中手骨の内側縁。
第1中手骨の骨幹から基部への移行部の
骨の膨隆の内側縁を押圧する。

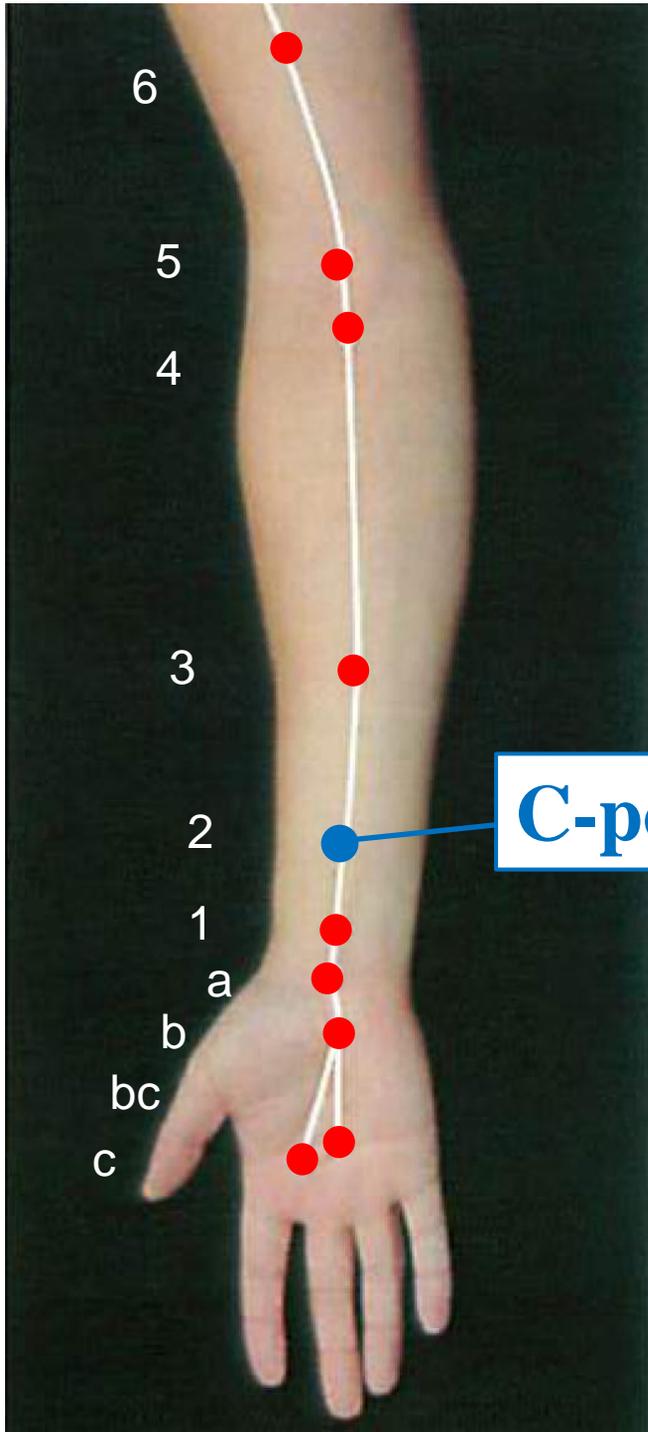
c

押し棒：細の太

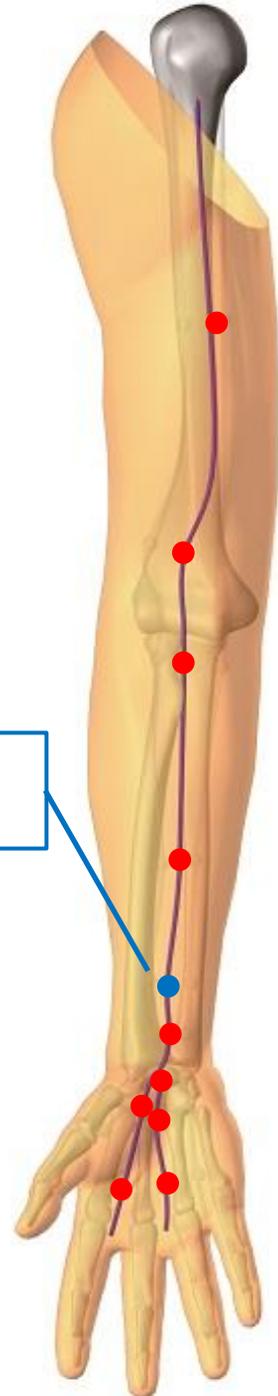
第1中手骨の内側縁。
第1中手骨の骨幹から骨頭部への移行部
の骨の膨隆の内側縁を押圧する。



TxII



C-point



TxII

前腕回外位で力を抜いてもらう

6

押し棒：太の細

上腕腹側面で上腕骨の中間の高さ。
上腕二頭筋の筋腹間、または内外のい
ずれかから、上腕二頭筋の直下にある
上腕骨の腹側面に向かって押圧する。



前腕回外位で力を抜いてもらう

5

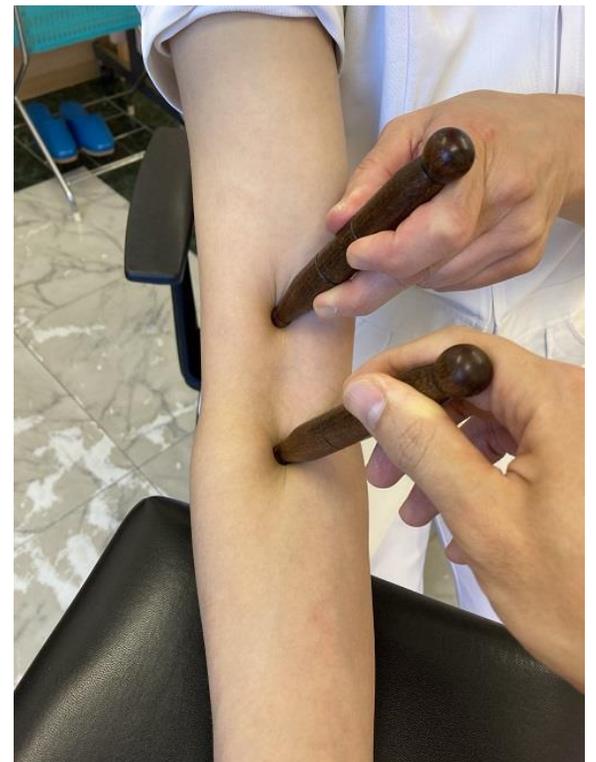
押し棒：太の細

肘関節の上方、上腕腹側面。
上腕二頭筋腱の外側縁から、上腕骨遠
位端の腹側面中央の陥凹部を押圧する。
(上腕二頭筋の直下)

4

押し棒：太の細

肘関節の下方、前腕腹側面中央。
円回内筋上縁から、橈骨・尺骨の近位
部骨間の陥凹を押圧する。



TxII

前腕回外位で力を抜いてもらう

3

押し棒：太の細

前腕腹側面の中間、または腕橈骨筋の筋腱移行部の高さ。

橈側手根屈筋と長掌筋の間で、橈骨・尺骨間の陥凹を押圧する。

2

押し棒：細の細

C-point

手関節から約3横指上方、または腕橈骨筋外側縁の曲線の延長線とTxIIのラインの交点の高さ。

橈側手根屈筋腱と長掌筋腱の間で橈骨と尺骨の間の陥凹を押圧する。



前腕回外位で力を抜いてもらう

1

押し棒：細の太

手関節のやや上方。

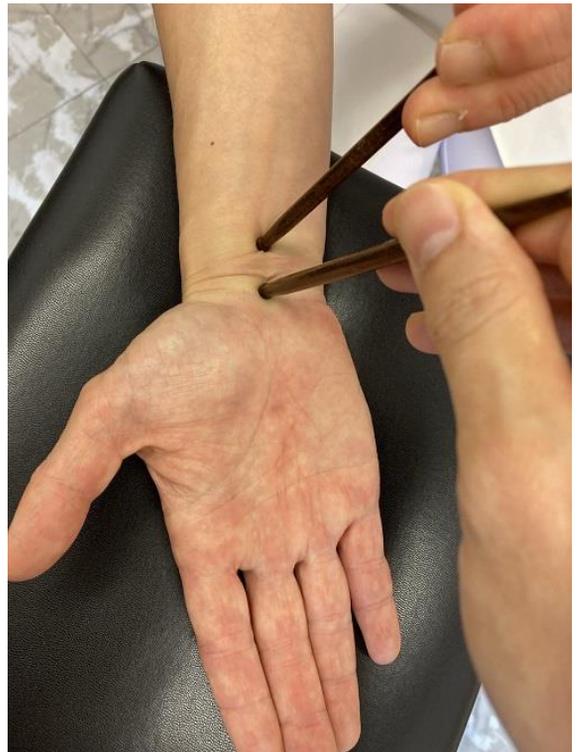
TxI/1と同じ高さ、橈側手根屈筋腱と長掌筋腱の間を押圧する。

a

押し棒：細の太

手関節掌側中央の陥凹部。

橈側手根屈筋腱と長掌筋腱の間（異なる場合もある）、または手関節掌背屈時に最も深く陥凹する点を押圧する。



前腕回外位で力を抜いてもらう

bc

押し棒：細の太

中手骨の基底部から骨幹部への移行部の高さ。

第3、4中手骨間の陥凹部を押圧する。

c

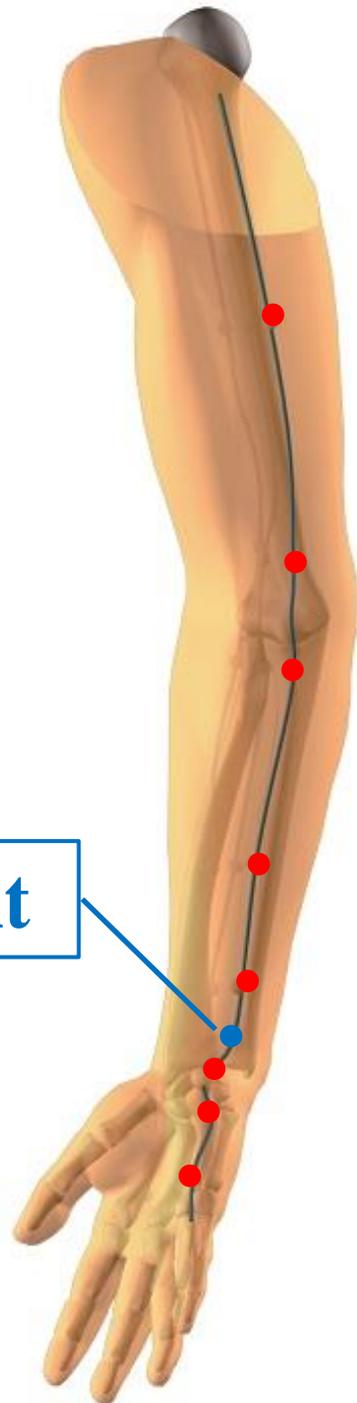
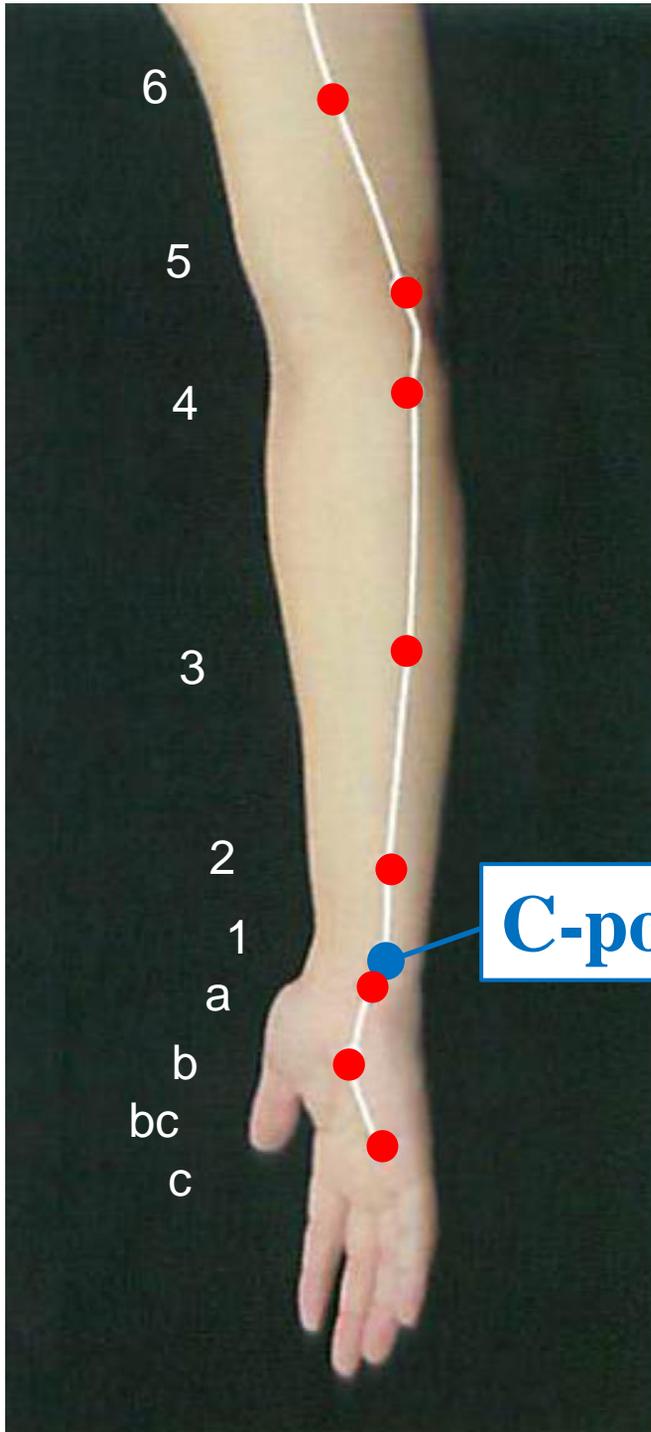
押し棒：細の太

中手骨の骨幹部から骨頭部への移行部の高さ。

第3、4中手骨間の陥凹部を押圧する。



TxIII



前腕回外位で力を抜いてもらう

6

押し棒：太の細

上腕腹側面の上腕骨の中間の高さ。
上腕二頭筋の内側縁から、上腕骨内側面の腹側のキワに向かって押圧する。



前腕回外位で力を抜いてもらう

5

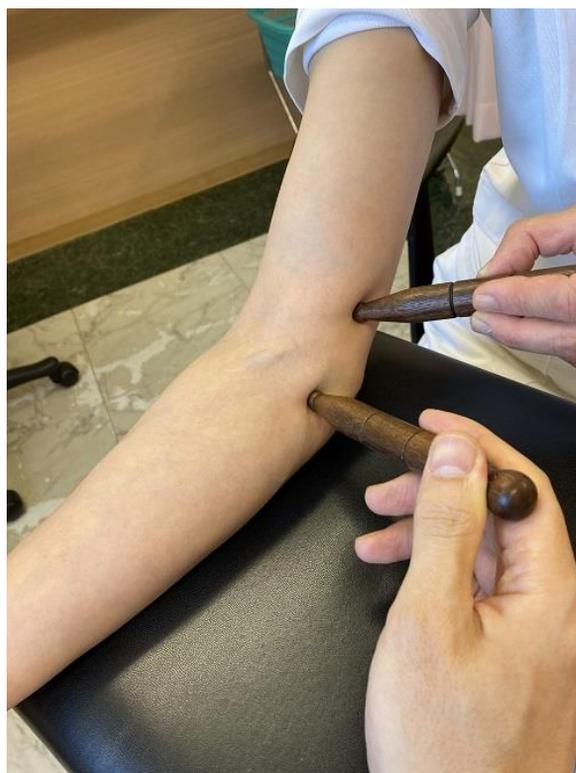
押し棒：太の細

肘関節の上方、上腕内側面。
上腕骨内側上顆の顆部上縁の陥凹部を、
掌側または内側から押圧する。

4

押し棒：太の細

肘関節の下方、前腕内側面。
上腕骨内側上顆を遠位にたどったキワの陥凹、または尺側手根屈筋上方で、
尺骨近位端の内側縁の陥凹を押圧する。



TxIII

前腕回外位で力を抜いてもらう

3

押し棒：太の細

前腕腹側面の間、または尺側手根屈近の筋腱移行部の高さ。

尺側手根屈筋上縁で、深指屈筋と尺骨の間の陥凹部を押圧する。

2

押し棒：細の太

TxII/2と同じ高さ。

尺側主根屈筋の内縁から尺骨の内側縁に向かって押圧する。



前腕回外位で力を抜いてもらう

1

押し棒：細の細

C-point

手関節のやや上方、TxI/1と同じ高さ。

尺側手根屈筋腱の内側から、尺骨の骨幹から骨頭部に移行する骨の膨隆の内側のキワを押圧する。

a

押し棒：細の太

手関節の尺側の陥凹部。

尺側手根屈筋腱の内側から、手関節掌屈時に最も深く陥凹する点を押圧する。



前腕回外位で力を抜いてもらう

bc

押し棒：細の太

中手骨の基底部から骨幹部への移行部の高さ。

第3、4中手骨間の陥凹部を押圧する。

c

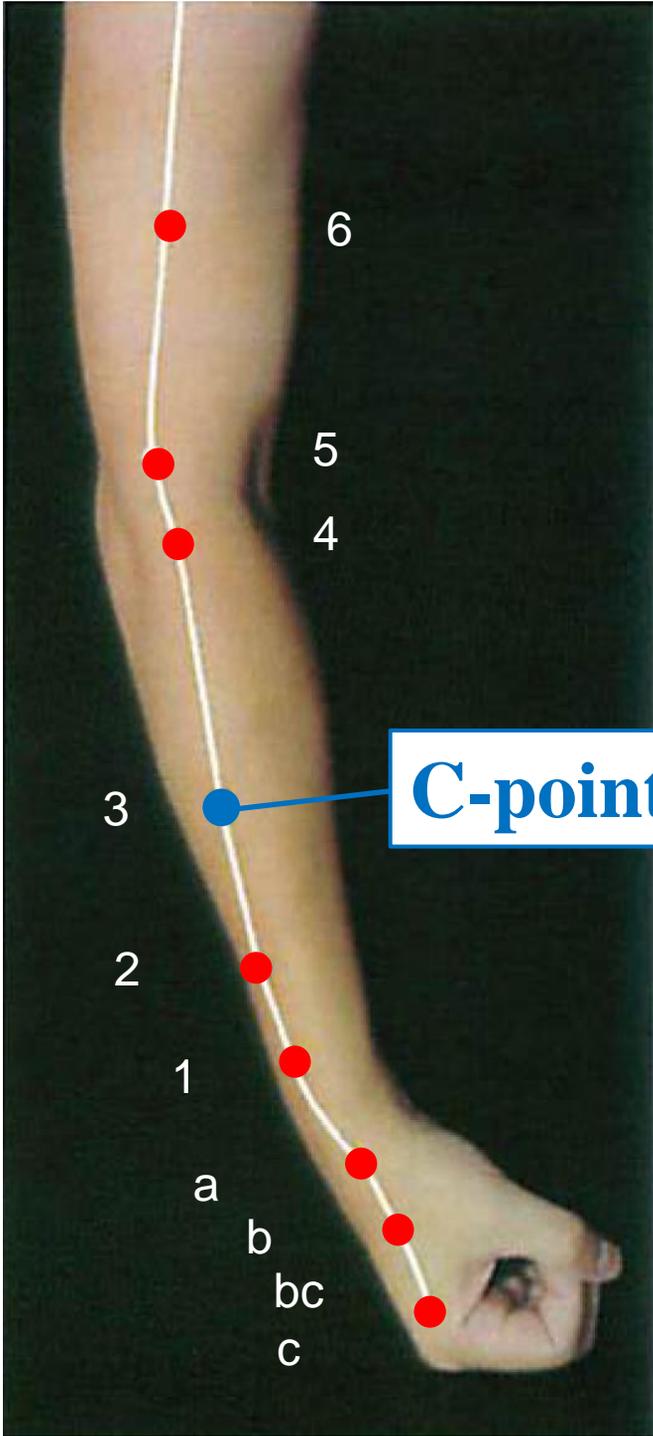
押し棒：細の太

中手骨の骨幹から骨頭部への移行部の高さ。

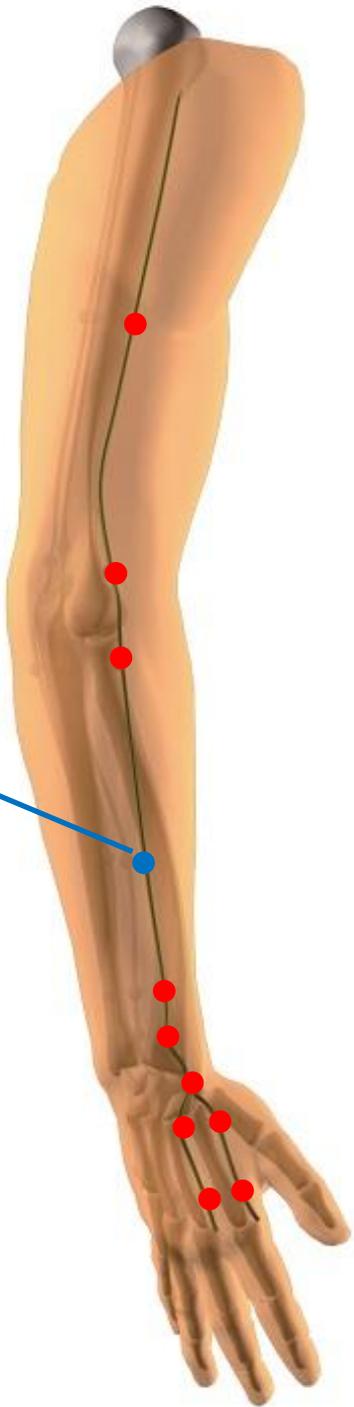
第3、4中手骨間の陥凹部を押圧する。



TyI



C-point



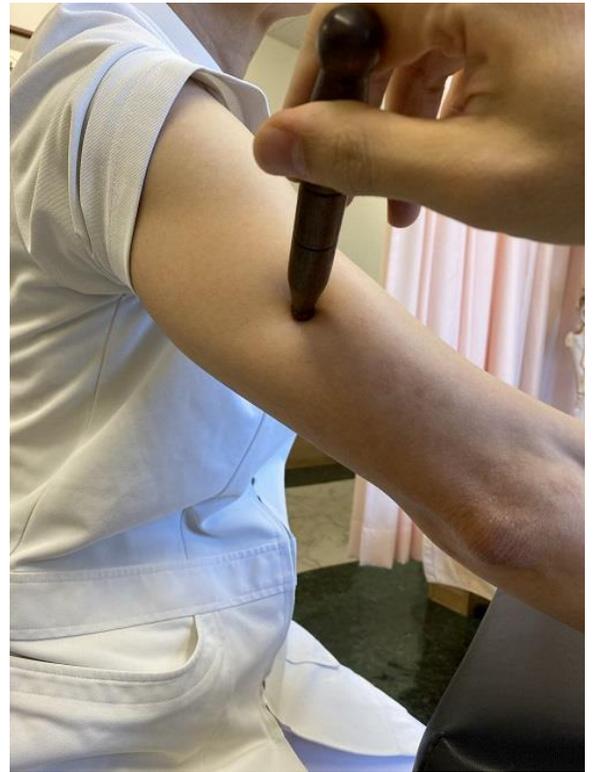
TyI

前腕回内外中間位で軽く肘を曲げてもらう

6

押し棒：太の細

上腕背側面の中間の高さ、または上腕外側の三角筋外側縁の曲線に沿った延長線と上腕骨が交差する高さ。上腕筋前縁から三角筋粗面の下方の陥凹部を、上腕骨の背側のキワに向かって押圧する。



前腕回内外中間位で軽く肘を曲げてもらう

5

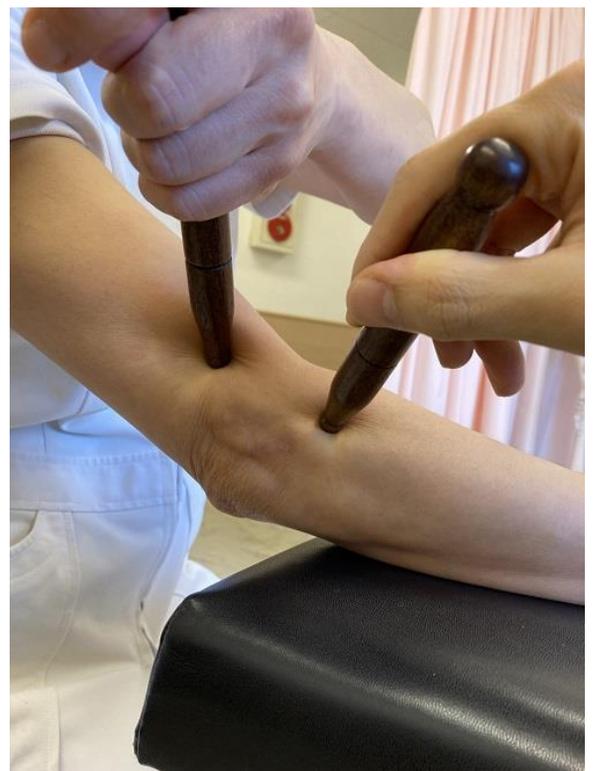
押し棒：太の細

肘関節の上方、上腕外側面。上腕骨外側上顆の上方のキワの陥凹部を、背側または外側から押圧する。

4

押し棒：太の細

肘関節の下方、前腕外側面。橈側手根伸筋と総指伸筋の間から、橈骨頸部近位縁の陥凹部を押圧する。



TyI

前腕回内外中間位で軽く肘を曲げてもらう

3

押し棒：太の細

C-point

前腕背側面の中間部、または長橈側手根伸筋の筋腱移行部の高さ。

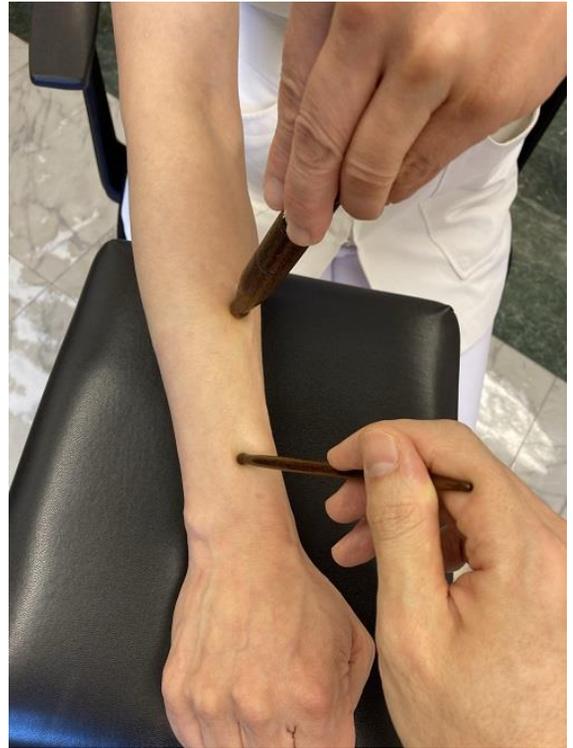
橈側手根伸筋の内側縁で、総指伸筋外縁から橈骨内側面に向かって押圧する。

2

押し棒：細の太

前腕背側面、TxI/2と同じ高さ、または長拇指伸筋の筋腱移行部の高さ。

総指伸筋外縁と橈骨内側縁の間の陥凹を押圧する。



前腕回内外中間位で軽く肘を曲げてもらう

1

押し棒：細の太

前腕背側面、手関節のやや上方、TxI/1と同じ高さ。

橈骨遠位端内側の陥凹部を押圧する。

a

押し棒：細の太

手関節の橈側面。

長母趾伸筋腱と短拇指伸筋腱の間で、手関節掌背屈時に最も深い陥凹部を押圧する。（解剖学的嗅ぎタバコ窩）



TyI

親指を軽く握りこませる

bc

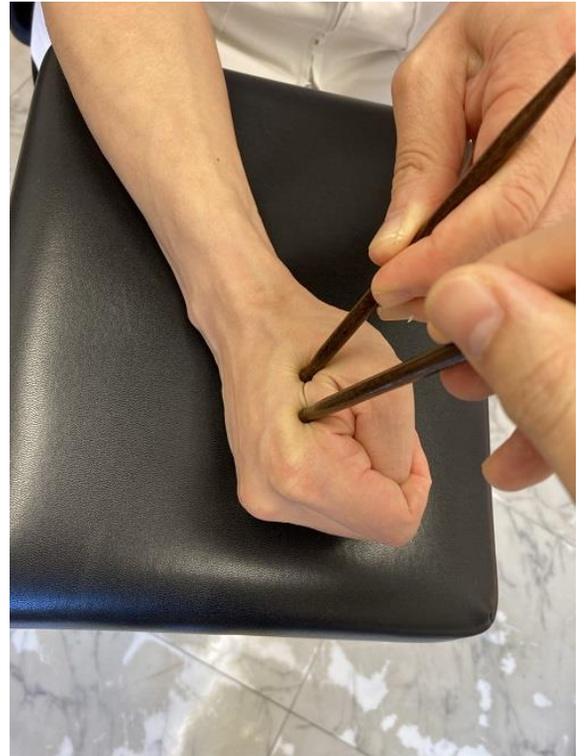
押し棒：細の太

手背部。第2中手骨の撓側。
中手骨基部から骨幹部への移行部の掌側縁を押圧する。

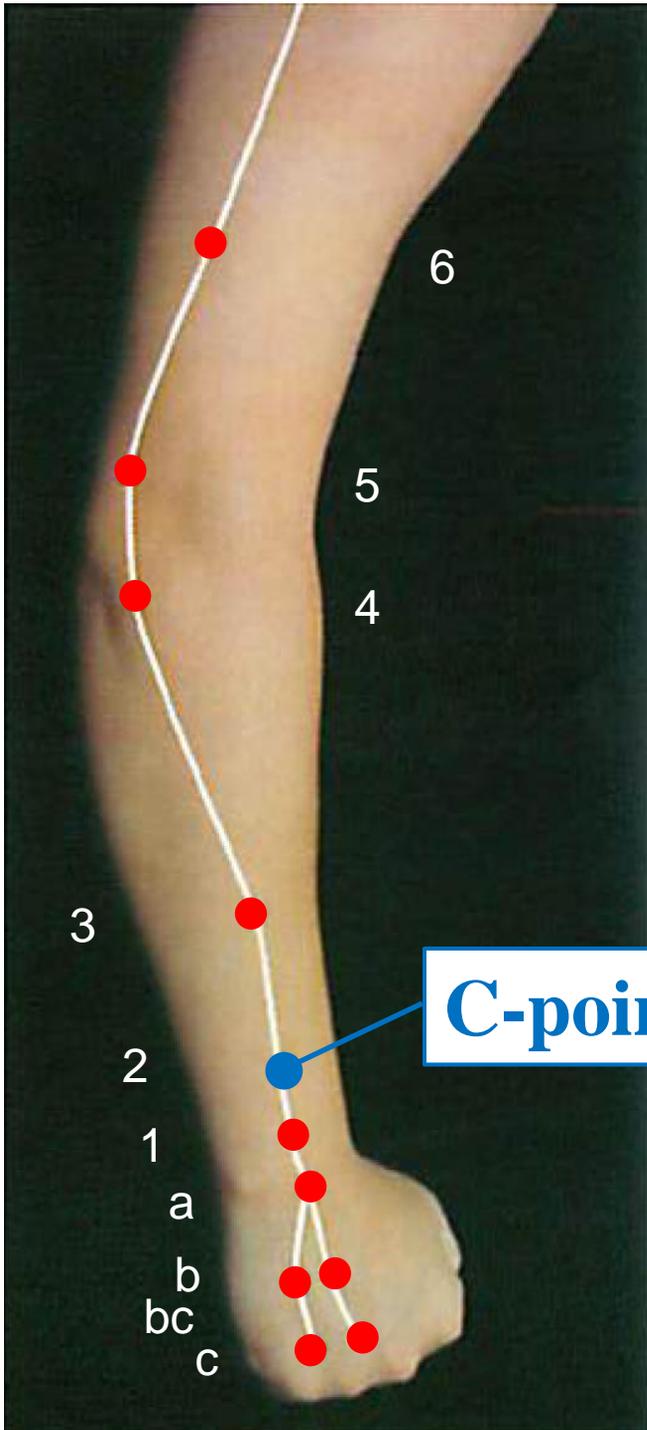
c

押し棒：細の太

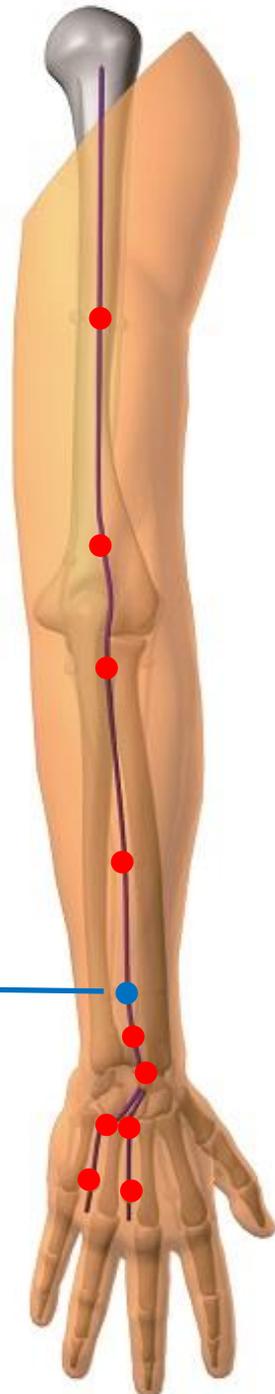
手背部。第2中手骨の撓側。
中手骨骨幹部から骨頭部への移行部の掌側縁を押圧する。



TyII



C-point



TyII

前腕回内外中間位で軽く肘を曲げてもらう

6

押し棒：太の細

上腕背側面で上腕骨の中間部、または上腕外側の三角筋外側縁の曲線に沿った延長線と上腕骨が交差する高さ。上腕筋と上腕三頭筋外側頭の間から、上腕骨の背側面を押圧する。



前腕回内外中間位で軽く肘を曲げてもらう

5

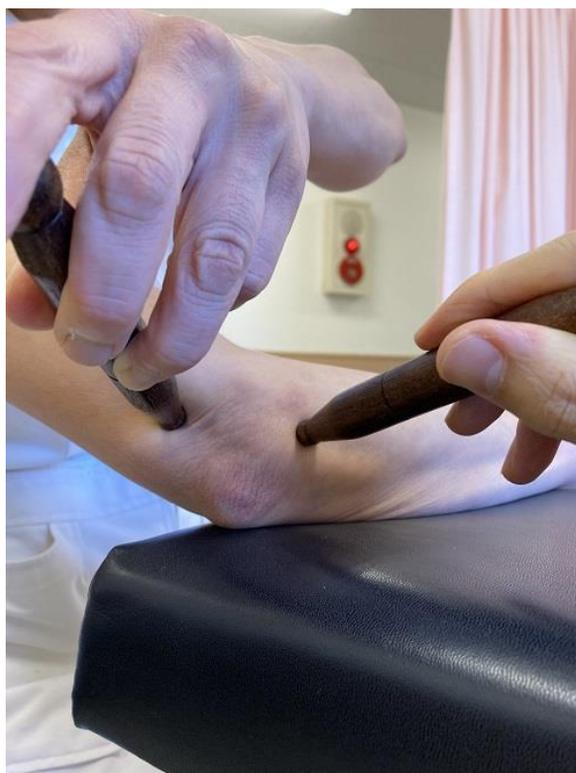
押し棒：太の細

肘関節の上方、上腕背側面。上腕三頭筋腱の外側から、上腕骨肘頭窩の上方の陥凹部を押圧する。

4

押し棒：太の細

肘関節の下方、前腕後側面。肘筋と尺骨近位端後縁の間で、肘頭の骨のキワの陥凹部を押圧する。



TyII

前腕回内外中間位で軽く肘を曲げてもらう

3

押し棒：太の細

前腕背側面中間部、または長橈側手根伸筋の筋腱移行部の高さ。

指伸筋間から、橈骨と尺骨の間の陥凹部を押圧する。

2

押し棒：細の太

C-point

前腕背側面、手関節から約3横指上方、または総指伸筋の筋腱移行部の高さ。

指伸筋の間で、橈骨と尺骨の間の陥凹部を押圧する。



前腕回内外中間位で軽く肘を曲げてもらう

1

押し棒：細の太

前腕背側面、手関節のやや上方。

総指伸筋腱外縁から、遠位橈尺関節のキワの陥凹部を押圧する。

a

押し棒：細の太

手関節背側面の中央部。

総指伸筋腱外縁から、手関節掌背屈時に最も深く陥凹する点を押圧する。



TyII

親指を軽く握りこませる

bc

押し棒：細の太

手背部。中手骨基部から骨幹部への移行部の高さ。

第4・5中手骨間の陥凹部を押圧する。
(第3・4中手骨間を使うこともある。)

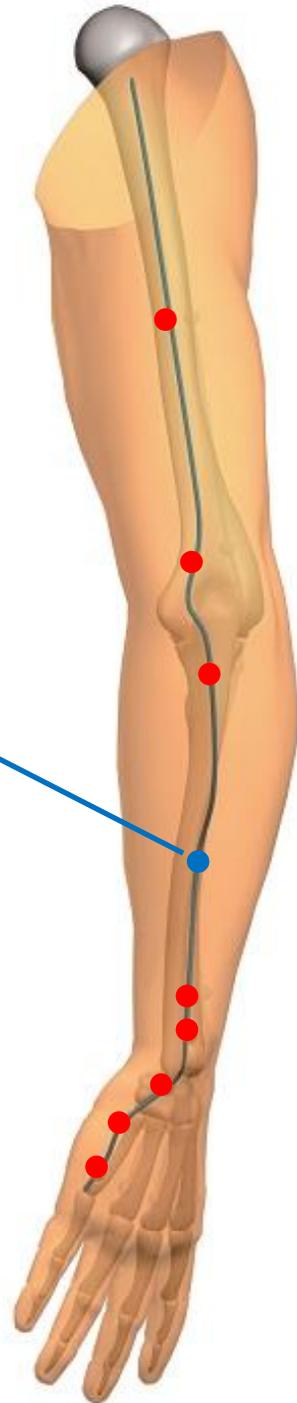
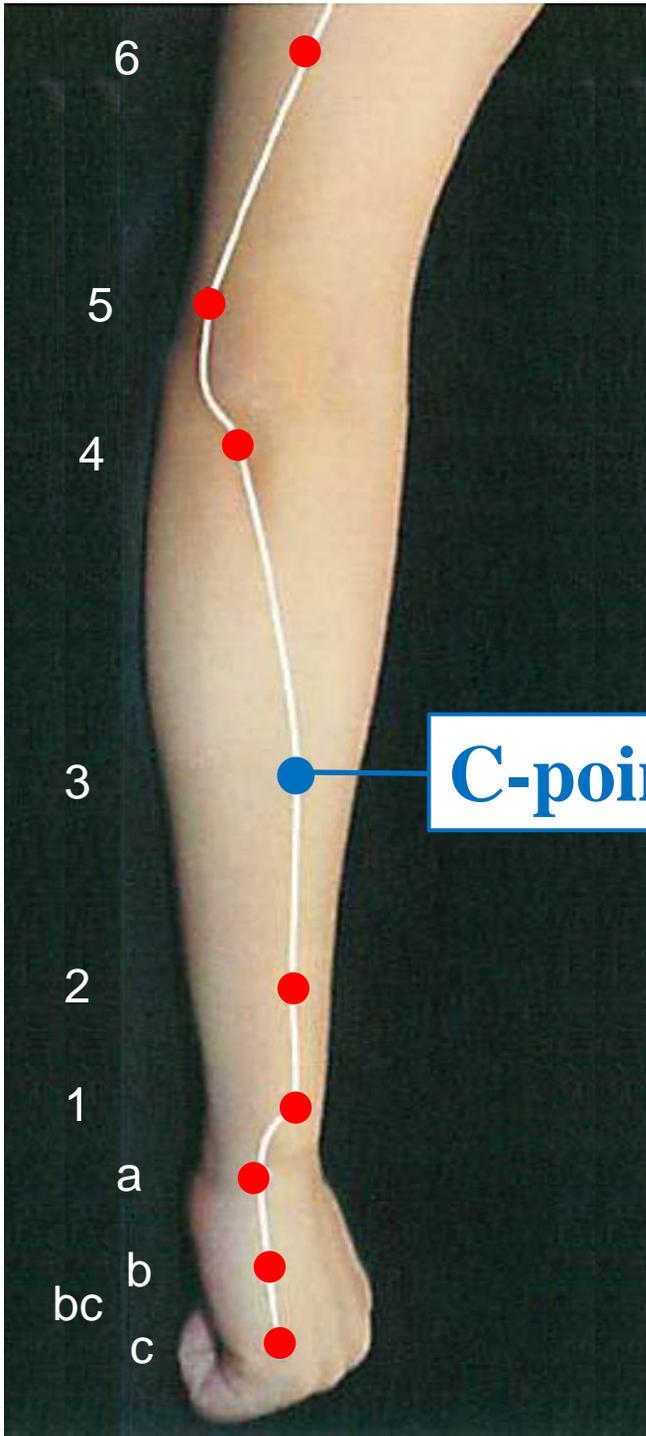
c

押し棒：細の太

手背部。中手骨骨幹部から骨頭部への移行部の高さ。第4、5中手骨間の陥凹部を押圧する。(第3・4中手骨間をつかうこともある。)



TyIII



TyIII

前腕やや回内位で軽く肘を曲げてもらう

6

押し棒：太の細

上腕背側面で上腕骨の中間部、または上腕外側の三角筋外側縁の曲線に沿った延長線と上腕骨が交差する高さ。上腕三頭筋外側頭と長頭の間から、上腕骨の内側縁に向かって押圧する。



肘を曲げてもらう

5

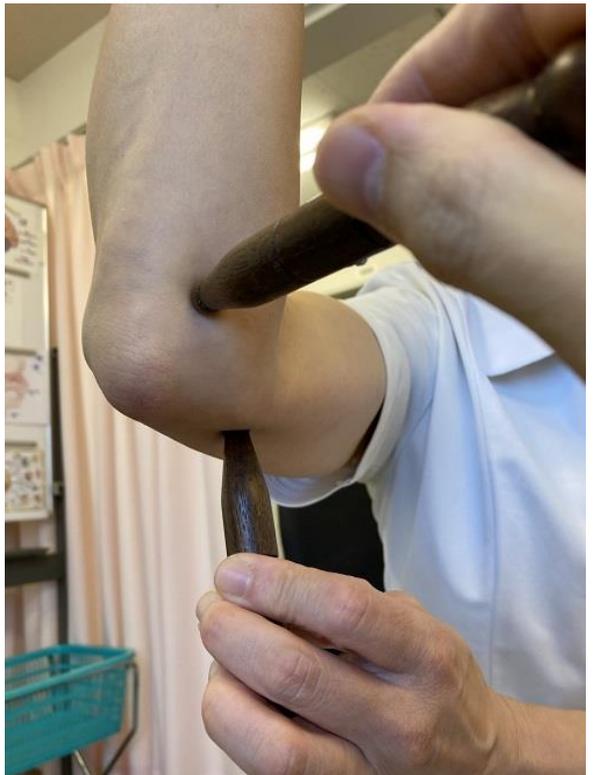
押し棒：太の細

肘関節の上方、上腕背側面。上腕三頭筋腱の内側縁から、上腕骨遠位部の背内側面、肘頭上方の陥凹部を押圧する。

4

押し棒：太の細

肘関節の下方、前腕背側面。尺骨の後内側面で、肘頭の骨の尺側の陥凹部を押圧する。



TyIII

前腕やや回内位

3

押し棒：太の細

C-point

前腕背側面中間部、または尺側手根伸筋の筋腱移行部の高さ。

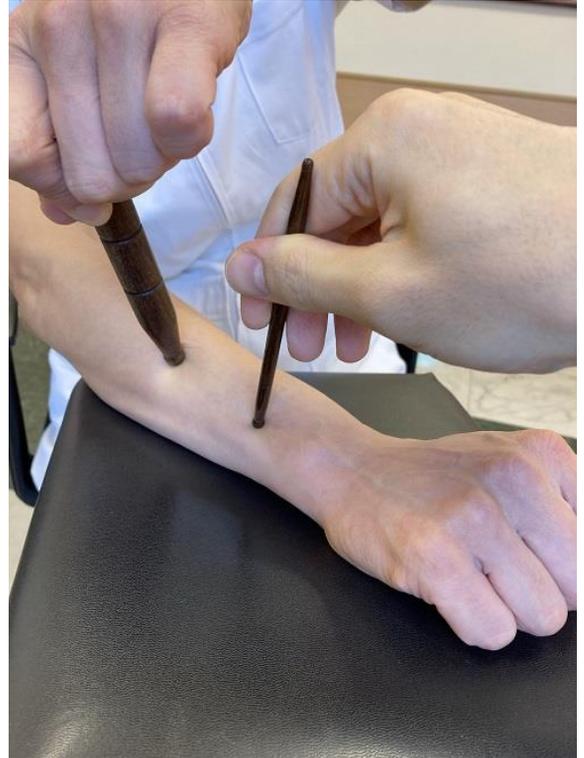
尺側手根伸筋の内側縁から、総指伸筋と尺骨の間の陥凹部を押圧する。

2

押し棒：細の太

前腕背側面、手関節から約3横指上方の高さ。

尺側手根伸筋の内側縁から、総指伸筋と尺骨の間の陥凹部を押圧する。



前腕やや回内位

1

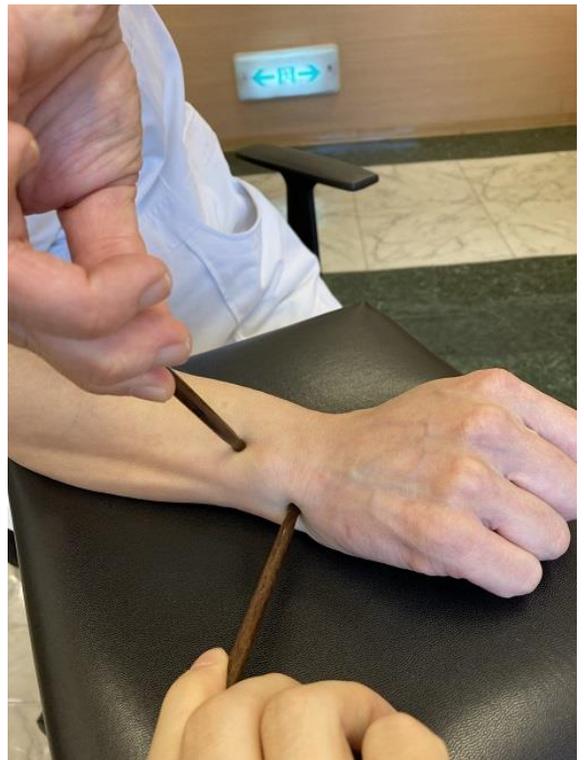
押し棒：細の太

前腕背側面、手関節のやや上方。
尺骨遠位端の内側縁の陥凹部を押圧する。

a

押し棒：細の太

手関節の尺側面の陥凹部。
尺側手根伸筋腱の下縁から、手関節橈尺屈時に最も深く陥凹する点を押圧する。



TyIII

指を軽く握ってもらう

bc

押し棒：細の太

第5中手骨の尺側面。中手骨基部から骨幹への移行部の高さ。

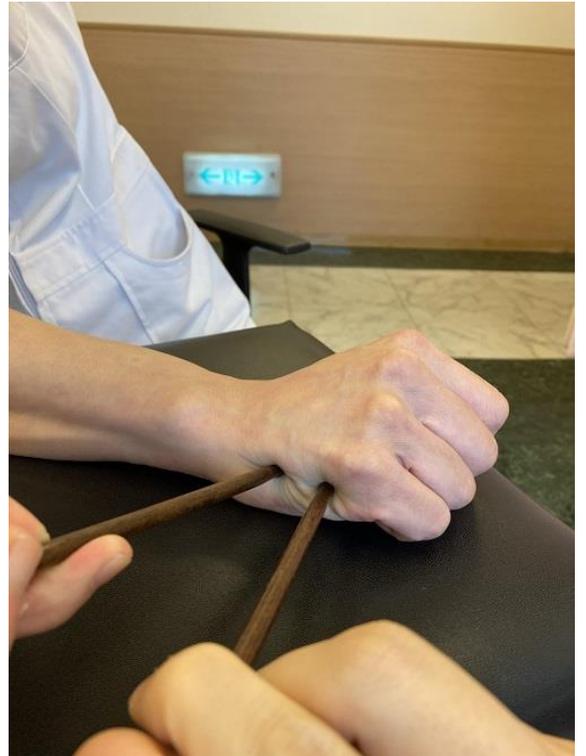
中手骨の掌側面のキワを押圧する。

c

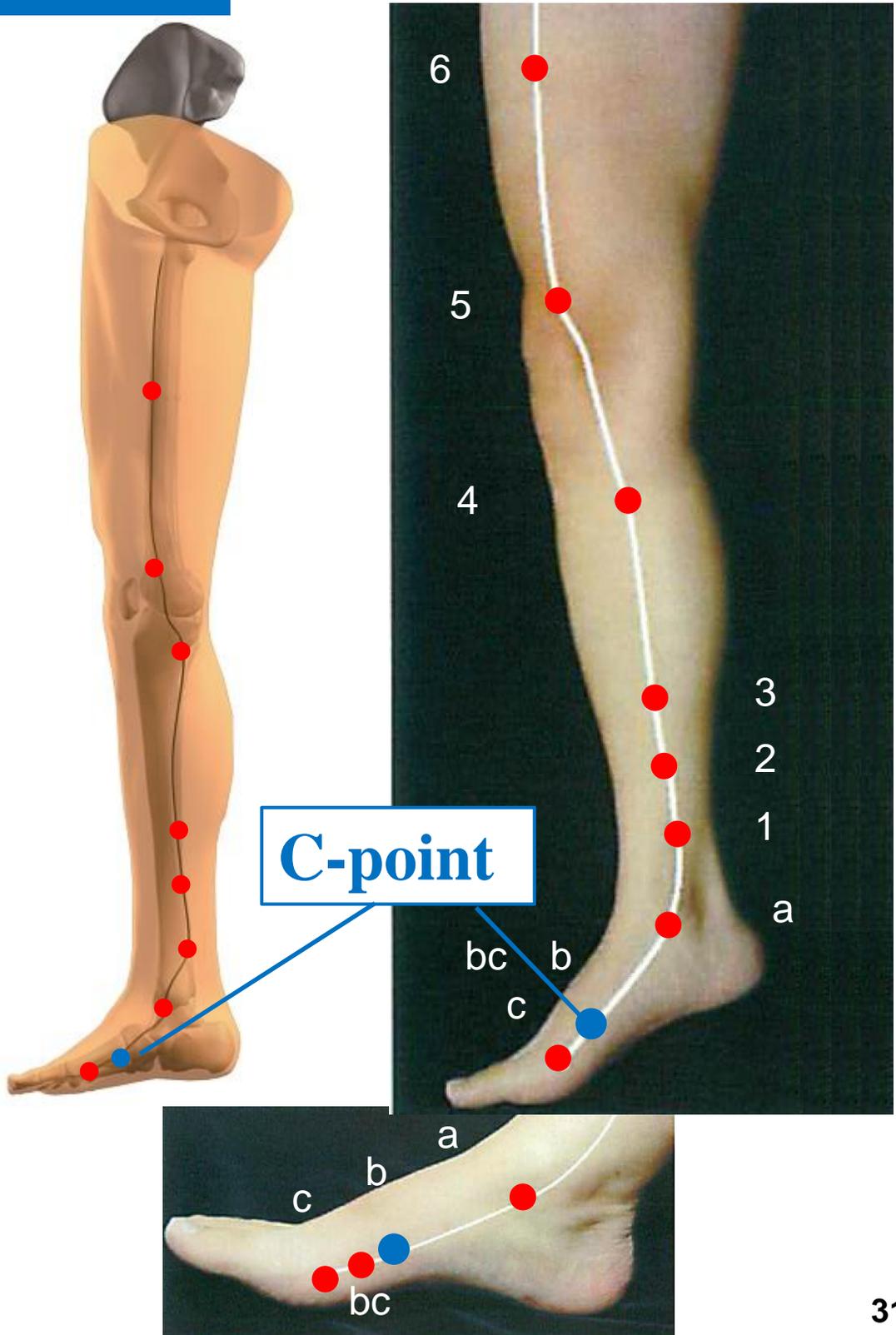
押し棒：細の太

第5中手骨の尺側面。中手骨骨幹から骨頭部への移行部の高さ。

中手骨掌側面のキワを押圧する。



AxI



股関節をやや外旋、外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

6

押し棒：太の細

大腿部内側面。大腿骨の中間の高さ。大腿直筋と内側広筋、縫工筋の間から、大腿骨の内側縁に向かってを押し棒を押し出す。



股関節をやや外旋、外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

5

押し棒：太の細

膝関節の上方、大腿部遠位端の前内側。大腿直筋の内側縁と内側広筋の間から、大腿骨骨幹から内側顆部への移行部の陥凹を押し棒を押し出す。



4

押し棒：太の細

膝関節の下方、下腿部近位端内側。脛骨顆部から骨幹への移行部の高さ。脛骨内側面の後縁の陥凹部を押し棒を押し出す。

股関節をやや外旋、外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

3

押し棒：太の細

下腿内側中間部、または腓腹筋内側頭の筋腱移行部（または長趾屈筋の筋腱移行部）の高さ。

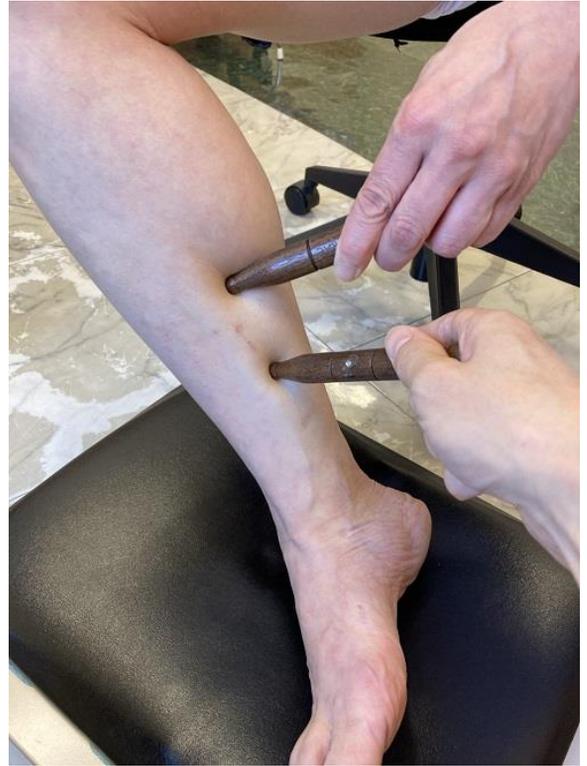
脛骨内側面の後縁の陥凹部を押圧する。

2

押し棒：太の細

下腿内側、腓腹筋内側頭内側縁の曲線の延長線と脛骨内側面後縁（AxI）が交差する高さ、または後脛骨筋の筋腱移行部の高さ。

脛骨内側面の後縁の陥凹部を押圧する。



股関節をやや外旋、外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

1

押し棒：太の細

下腿内側、ヒラメ筋の筋腱移行部と同じ高さ。

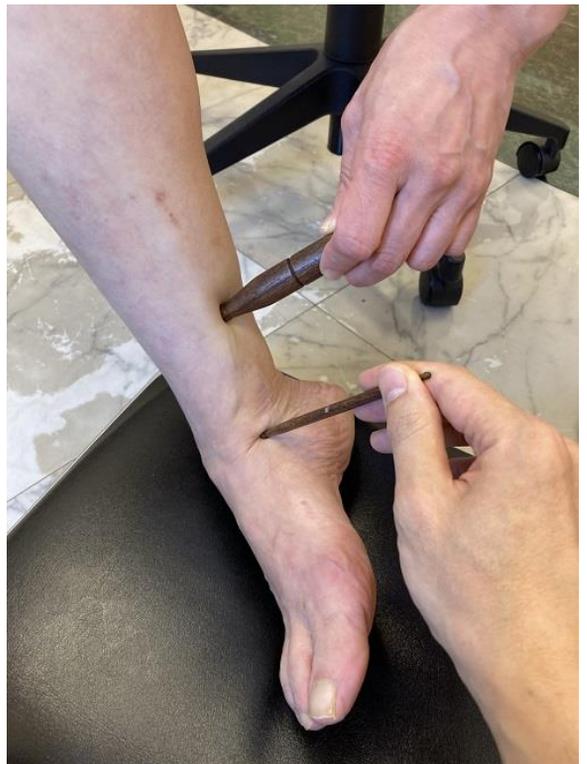
脛骨内側面の後縁の陥凹部を押圧する。

a

押し棒：細の太

足関節内側面。

内果前下縁と後脛骨筋腱の間の陥凹部を押圧する。



股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

b

押し棒：細の細

C-point

足部内側。第1中足骨基部から骨幹への移行部の高さ。

中足骨の底側縁を押圧する。

bc

押し棒：細の太

足部内側。第1中足骨の底側縁でbとcの間を押圧する。

c

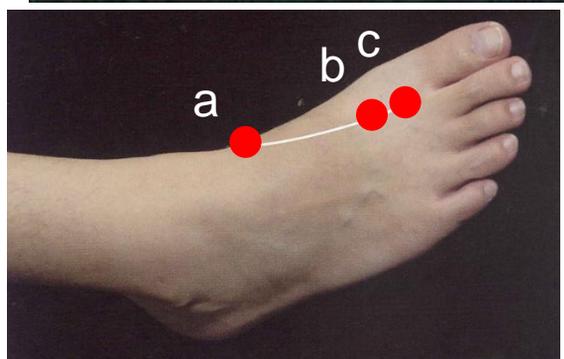
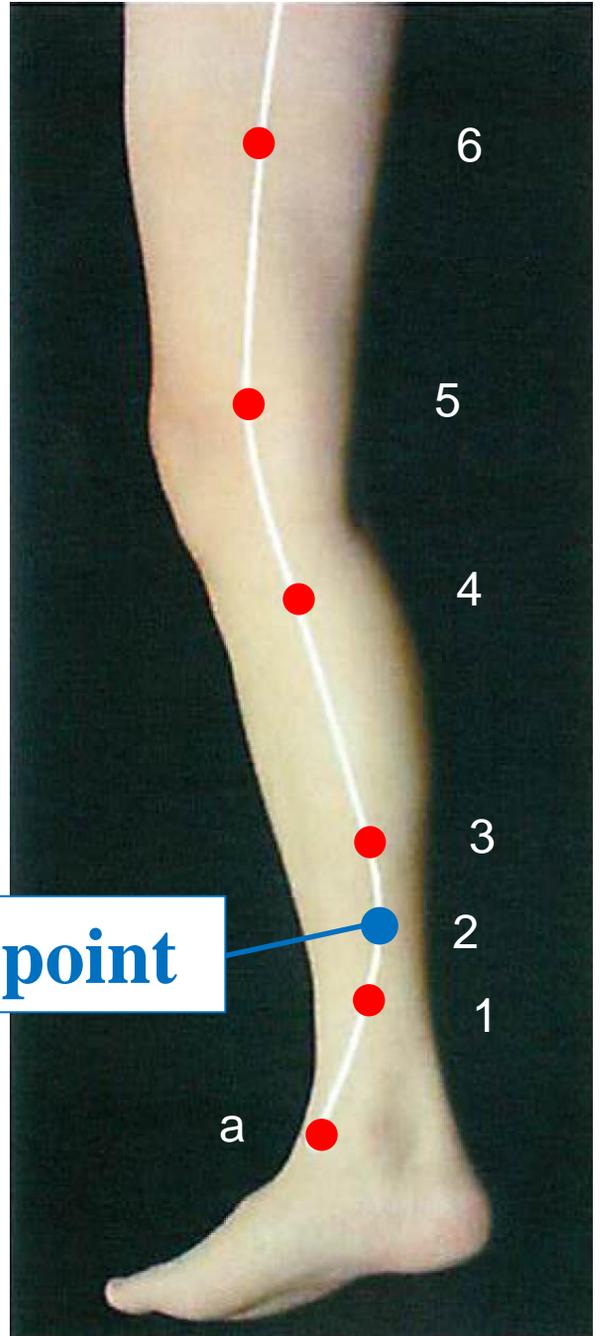
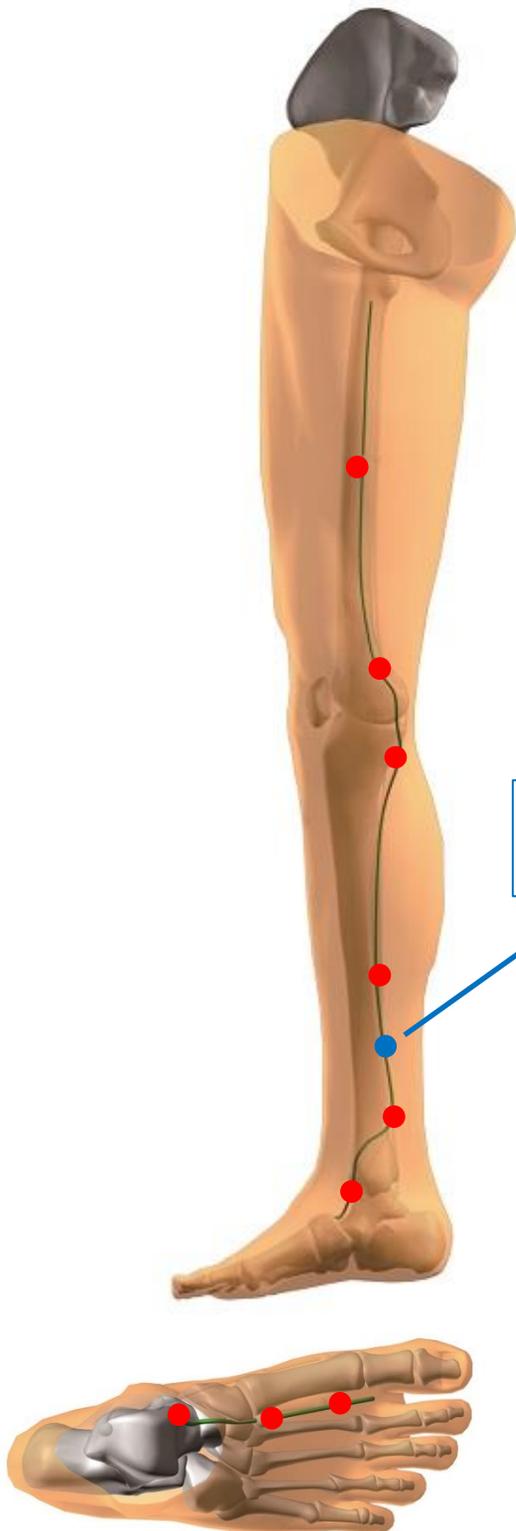
押し棒：細の太

足部内側。第1中足骨骨幹から骨頭部への移行部の高さ。

中足骨の底側縁を押圧する。



AxII



AxII

股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

6

押し棒：太の細

大腿部内側、大腿骨の中間の高さ。内側広筋、縫工筋、大内転筋の間から、大腿骨の前内側縁に向かって押圧する。



股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

5

押し棒：太の細

膝関節の上方、大腿遠位部内側。大腿骨内側上顆後方キワの陥凹部を押圧する。



4

押し棒：太の細

膝関節の下方、下腿近位端内側面。薄筋の後縁から、脛骨近位端後方キワの陥凹部を押圧する。



AxII

股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

3

押し棒：太の細

下腿内側中間部、または腓腹筋内側頭の筋腱移行部（または長趾屈筋の筋腱移行部）の高さ。

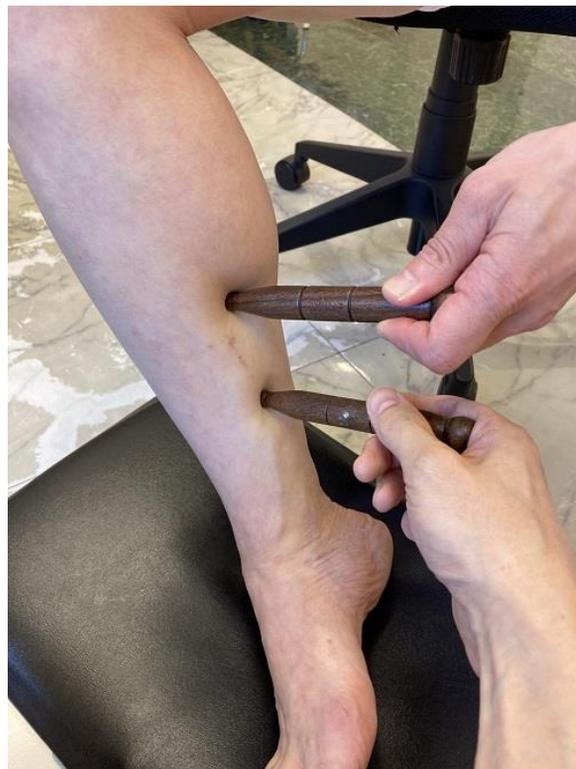
ヒラメ筋前縁から、脛骨後縁の後方の陥凹部を押圧する。

2

押し棒：太の細

C-point

腓腹筋内側頭内側縁の曲線の延長線と脛骨内側面後縁（AxI）が交差する高さ、または後脛骨筋の筋腱移行部の高さ。
ヒラメ筋前縁から、脛骨後縁の後方の陥凹部を押圧する。



股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

1

押し棒：太の細

下腿内側、ヒラメ筋の筋腱移行部の高さ。
脛骨内側後縁の後方の陥凹部を押圧する。

a

押し棒：細の太

足関節内側面、内果の前側キワ。
前脛骨筋の内側縁から、足関節底背屈時に最も深く陥凹する点を押圧する。



AxII

膝屈曲して下腿を台に垂直に立ててもらおう

bc

押し棒：細の太

足背部。中足骨基部から骨幹への移行部の高さ。

第1・2中足骨間の陥凹部を押圧する。

c

押し棒：細の太

足背部。中足骨骨幹から骨頭部への移行部の高さ。

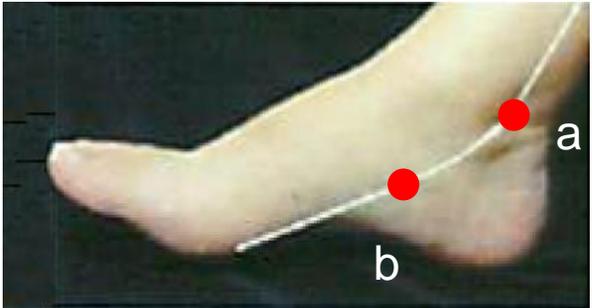
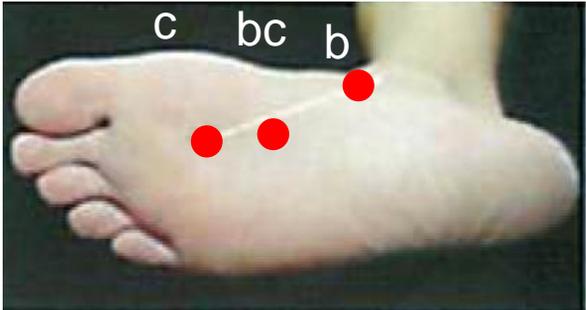
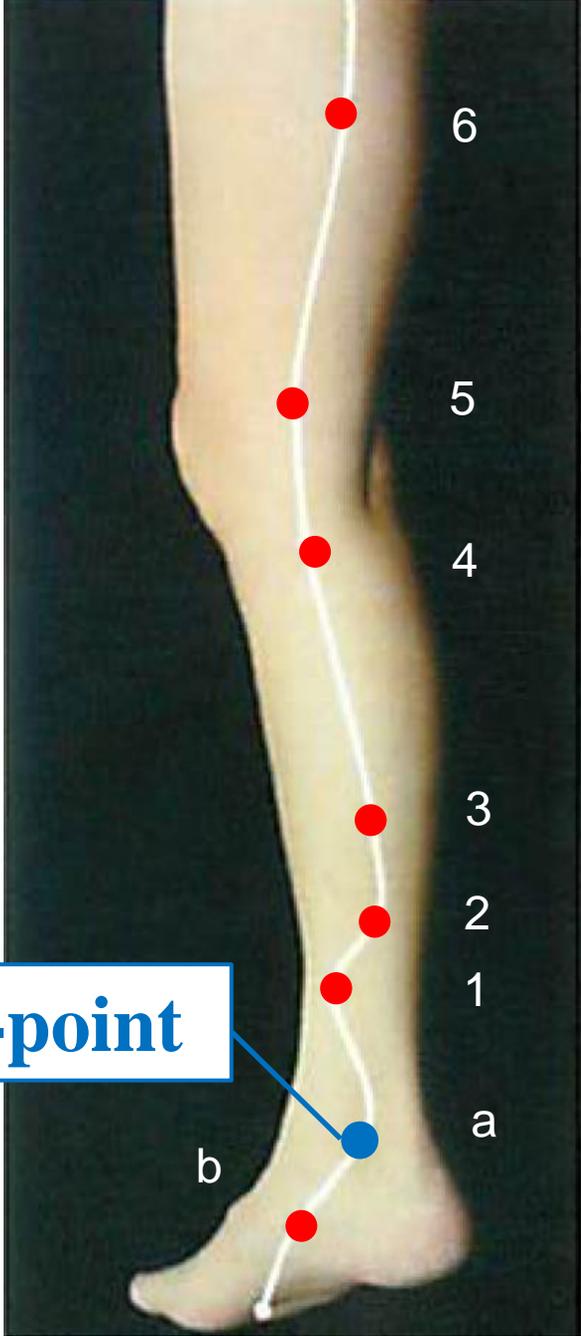
第1・2中足骨間の陥凹部を押圧する。



AxIII



C-point



AxIII

股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

6

押し棒：太の細

大腿部内側、大腿骨の中間の高さ。大内転筋と薄筋の間（または薄筋と半膜様筋の間）から、大腿骨内側後縁に向かって押圧する。



股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

5

押し棒：太の細

大腿部遠位端の内後側面、膝関節後方。薄筋の上縁（または薄筋と半膜様筋の間）から、大腿骨骨幹から内顆の移行部の陥凹部を押圧する。

4

押し棒：太の細

膝関節の下方、下腿近位端の後内側。腓腹筋内側頭の前縁から、脛骨近位端後方の陥凹部を押圧する。



AxIII

股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

3

押し棒：太の細

下腿内側の中間、または腓腹筋内側頭の筋腱移行部（または長趾屈筋の筋腱移行部）の高さ。

ヒラメ筋と腓腹筋の筋腱膜の間から、脛骨の内後側縁に向かって押圧する。

2

押し棒：太の細

腓腹筋内側頭内側縁の曲線の延長線と脛骨内側面後縁（AxI）が交差する高さ、または後脛骨筋の筋腱移行部の高さ。
ヒラメ筋後縁と腓腹筋腱膜の間から、脛骨の後内側縁に向かって押圧する。

1

押し棒：太の細

下腿内側面、ヒラメ筋の筋腱移行部の高さ。

脛骨内側縁の後方の陥凹部を押圧する。



AxIII

股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜いてもらう

a

押し棒：太の細

C-point

足関節内側面、内果最隆起部の後方キワ。内果後縁で最も深い陥凹部を押圧する。

b

押し棒：太の細

足部内側。
踵舟関節下縁の陥凹部を押圧する。



股関節やや外旋・外転位で膝、足関節の力を抜き、足底を上に向けてもらう

bc

押し棒：太の細

足底部。中足骨基部から骨幹への移行部の高さ。
第1・2中足骨間の陥凹部を押圧する。

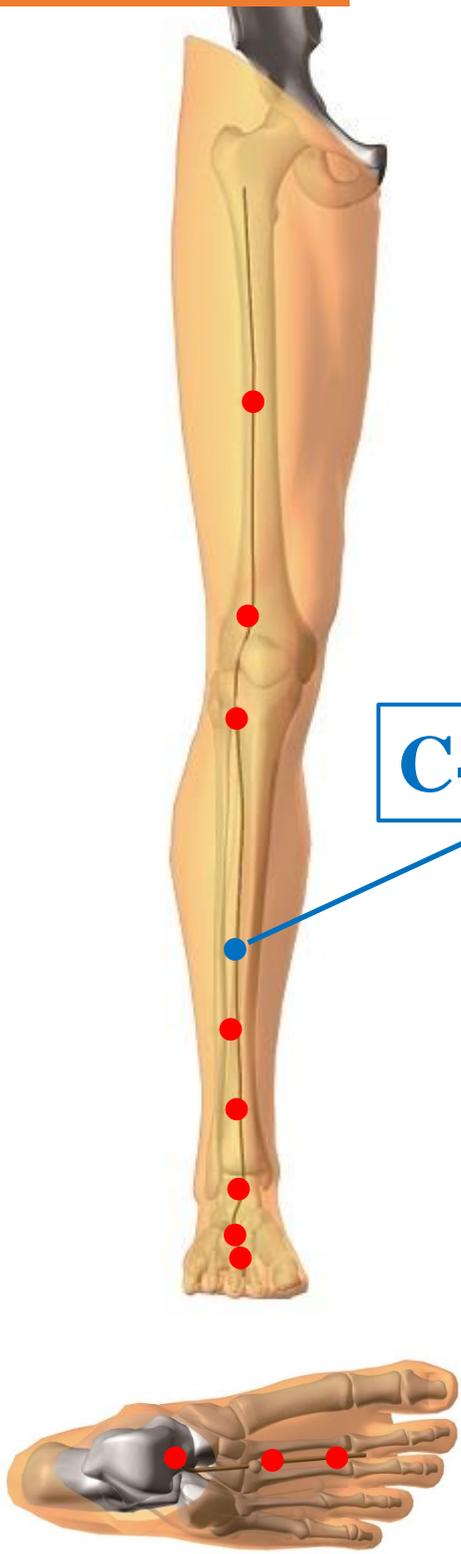
c

押し棒：太の細

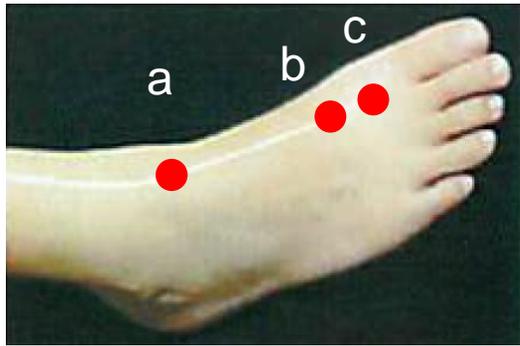
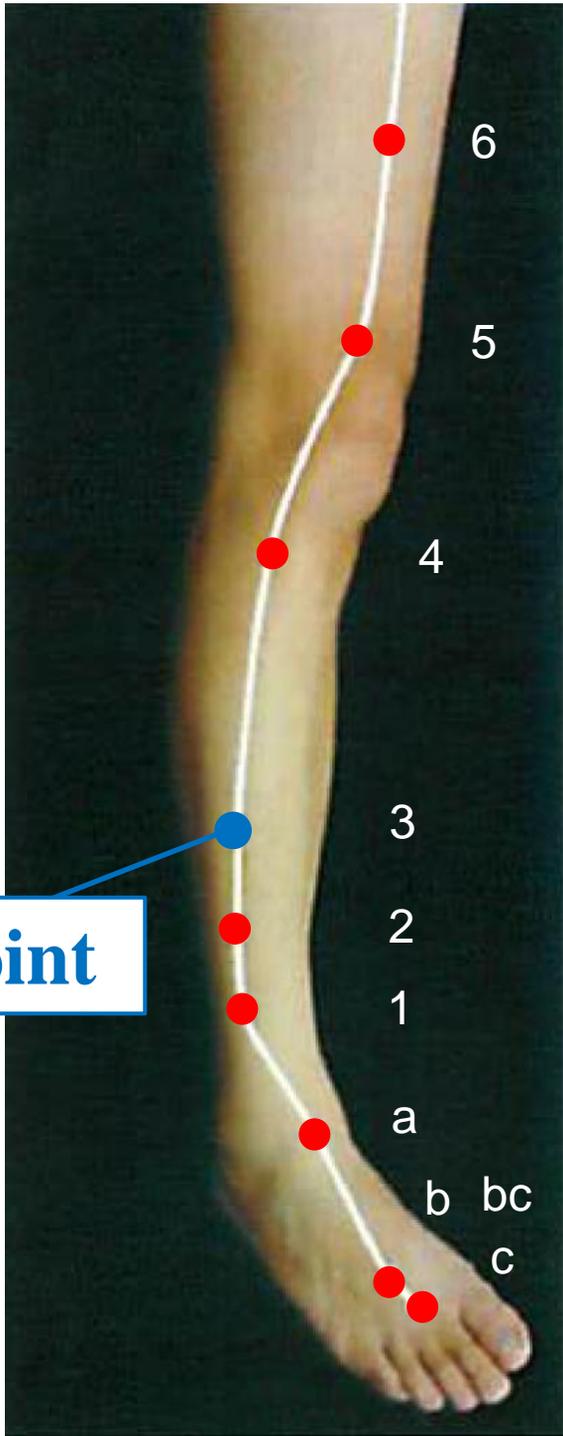
足底部。中足骨骨幹から骨頭部への移行部の高さ。
第1・2中足骨間の陥凹部を押圧する。



AyI



C-point



AyI

膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもら
う

6

押し棒：太の細

大腿部前外側、大腿骨の中間の高さ。
大腿直筋の外縁から、大腿骨外側縁に
向かって押圧する。



膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもら
う

5

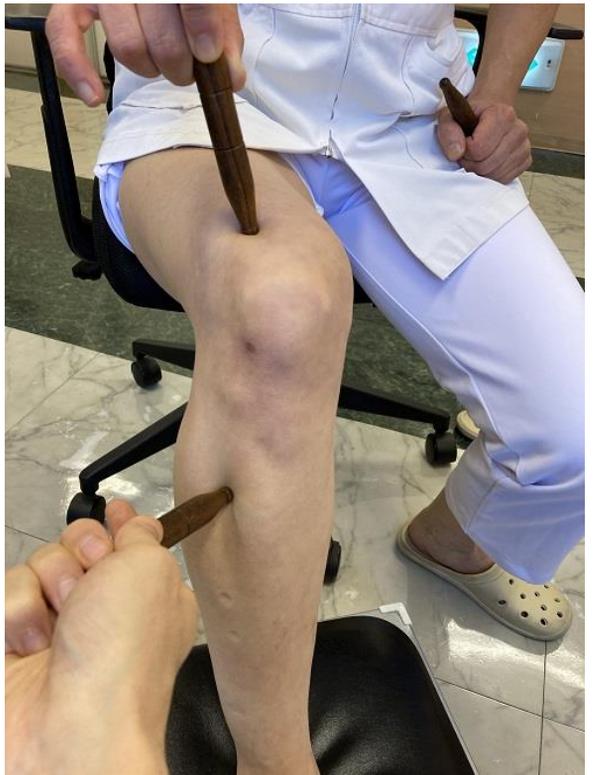
押し棒：太の細

膝関節の上方、大腿遠位端前側。
大腿直筋外縁から、大腿骨の骨幹から
外顆への移行部外側の陥凹部を押圧す
る。

4

押し棒：太の細

膝関節の下方、下腿近位端外側。
前脛骨筋の後縁で、腓骨頭から骨幹へ
の移行部の陥凹を押圧する。



AyI

膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもら
う

3

押し棒：太の細

C-point

下腿外側面の中間、AxIと同じ高さ（ま
たは長趾伸筋の筋腱移行部の高さ）。
前脛骨筋の後縁から、脛骨の外側面に向
かって押圧する。

2

押し棒：太の細

下腿外側、AxI/2と同じ高さ（または前脛
骨筋の筋腱移行部の高さ）。
前脛骨筋の後縁から、脛骨の外側面に向
かって押圧する。



膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもら
う

1

押し棒：太の細

下腿外側、AxI/1と同じ高さ（または第3
腓骨筋の筋腱移行部の高さ）。
前脛骨筋の後縁から、脛骨の外側面に向
かって押圧する。

a

押し棒：太の細

下腿外側、AxI/1と同じ高さ（または第3
腓骨筋の筋腱移行部の高さ）。
前脛骨筋の後縁から、脛骨の外側面に向
かって押圧する。



AyI

膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもら
う

bc

押し棒：細の太

足背部。中足骨基部から骨幹への移行部
の高さ。

第2・3中足骨間の陥凹部を押圧する。

c

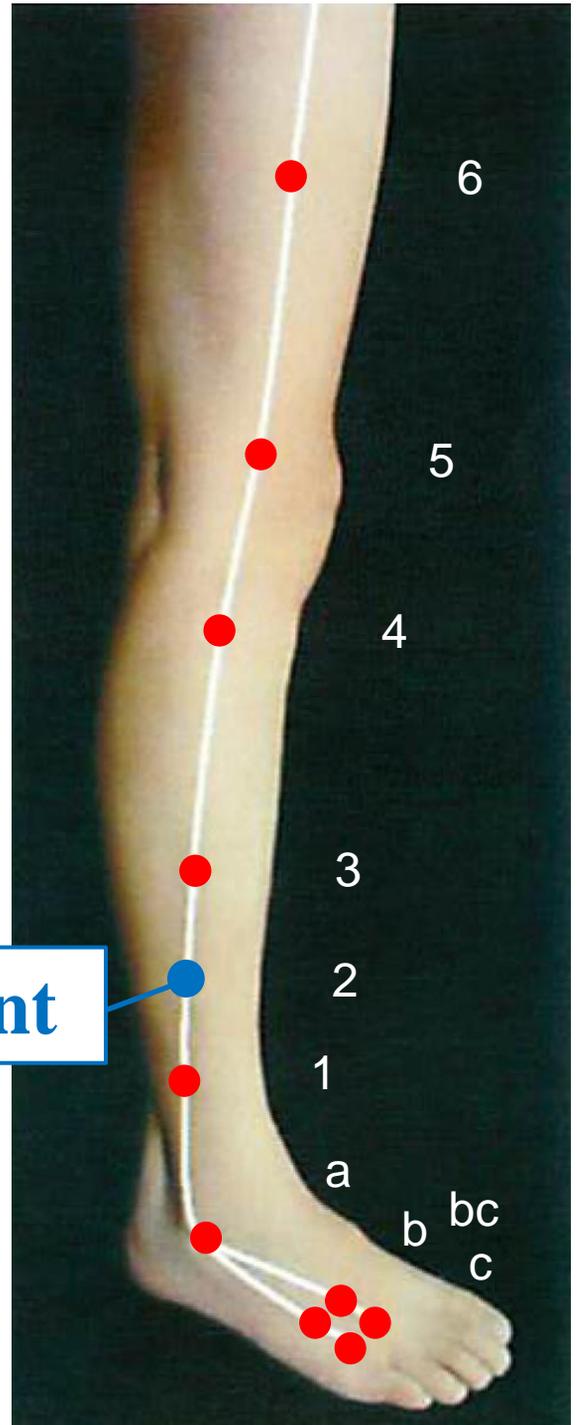
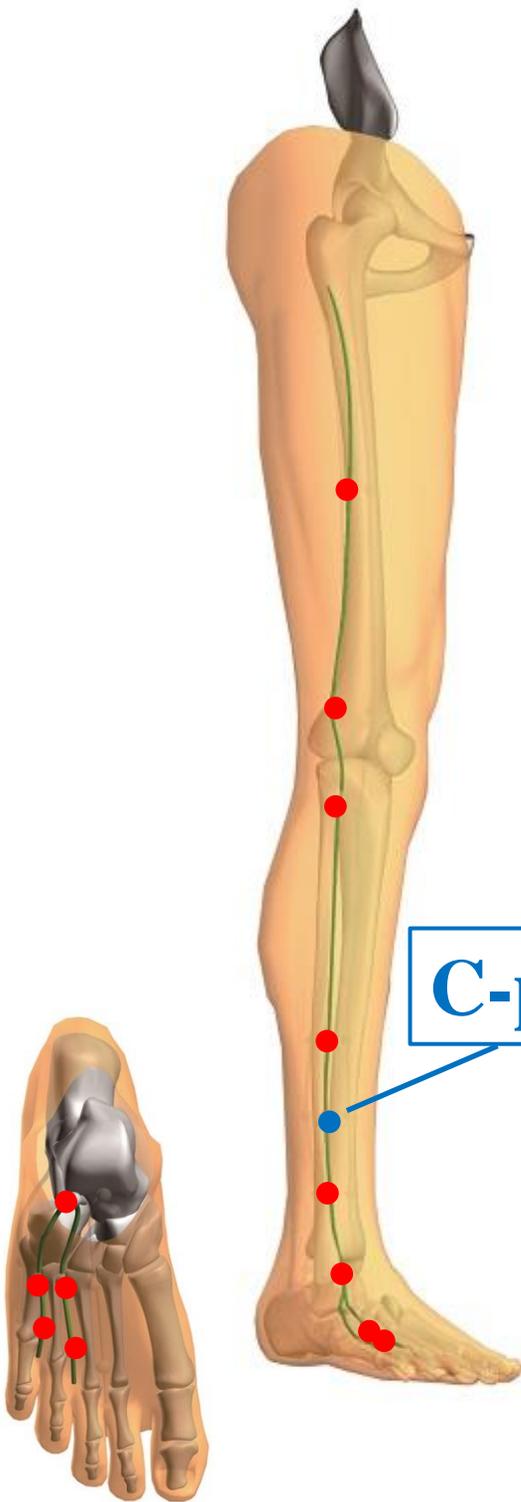
押し棒：細の太

足背部。中足骨骨幹から骨頭部への移行
部の高さ。

第2・3中足骨間の陥凹部を押圧する。



AyII



AyII

膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもら
う

6

押し棒：太の細

大腿部外側、大腿骨の中間の高さ。
腸脛靭帯前縁から、大腿骨外側面に向
かって押圧する。



膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもら
う

5

押し棒：太の細

膝関節の上方、大腿部遠位端外側。
大腿骨外側上顆後方の陥凹部を押圧す
る。



4

押し棒：太の細

膝関節の下方、下腿部近位端外側。
長趾伸筋の後縁から、腓骨頭前下方の
陥凹部を押圧する。

AyII

膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもらう

3

押し棒：太の細

下腿外側面の中間、Ayl/3と同じ高さ、または長趾伸筋の筋腱移行部の高さ。
腓骨前外側縁の陥凹部を押圧する。

2

押し棒：太の細

C-point

下腿外側面、Ayl/2と同じ高さ、または前脛骨筋の筋腱移行部の高さ。
腓骨前外側縁の陥凹部を押圧する。



膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもらう

1

押し棒：太の細 ※画像なし

下腿外側面、Ayl/1と同じ高さ、または第3腓骨筋の筋腱移行部の高さ。
腓骨前外側縁の陥凹部を押圧する。

a

押し棒：太の細

足関節外側面、外果の前下縁。
前距腓靭帯後縁から最も深い陥凹部を押圧する。



AyII

膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもら
う

bc

押し棒：細の太

足背部。中足骨基部から骨幹への移行部
の高さ。

第4・5中足骨間の陥凹部を押圧する。
(第3・4中足骨間を使うこともある)

c

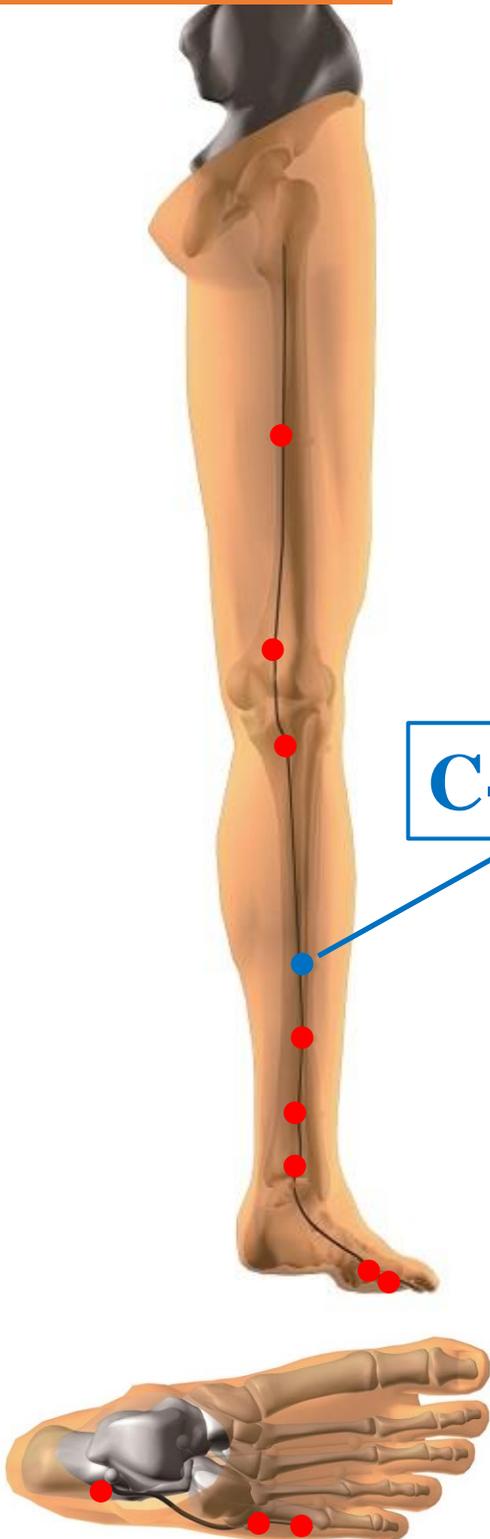
押し棒：細の太

足背部。中足骨骨幹から骨頭部への移行
部の高さ。

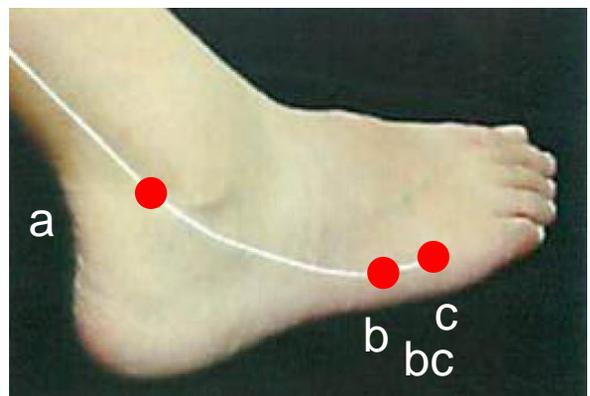
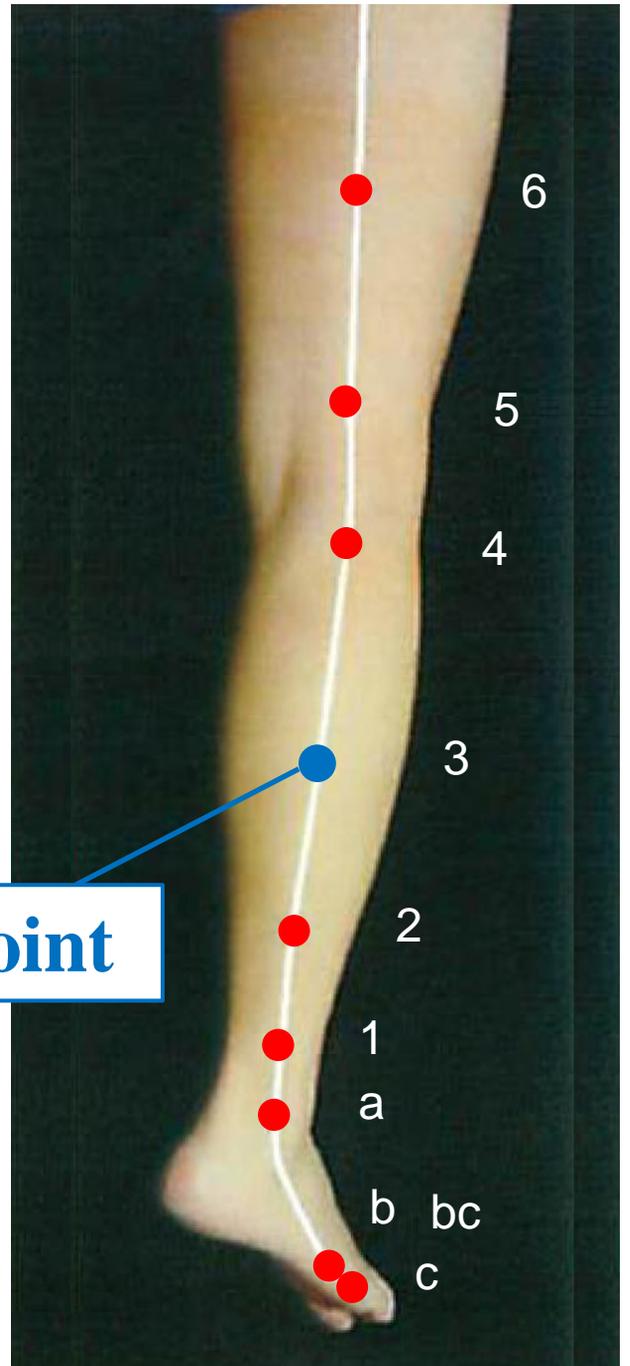
第4・5中足骨間の陥凹部を押圧する。
(第3・4中足骨間を使うこともある)



AyIII



C-point



AyIII

膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもらおう

6

押し棒：太の細

大腿部後側、大腿骨の中間の高さ。腸脛靭帯と大腿二頭筋の間の陥凹部（または大腿二頭筋内縁の陥凹部）から、大腿骨後面に向かって押圧する。



膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもらおう

5

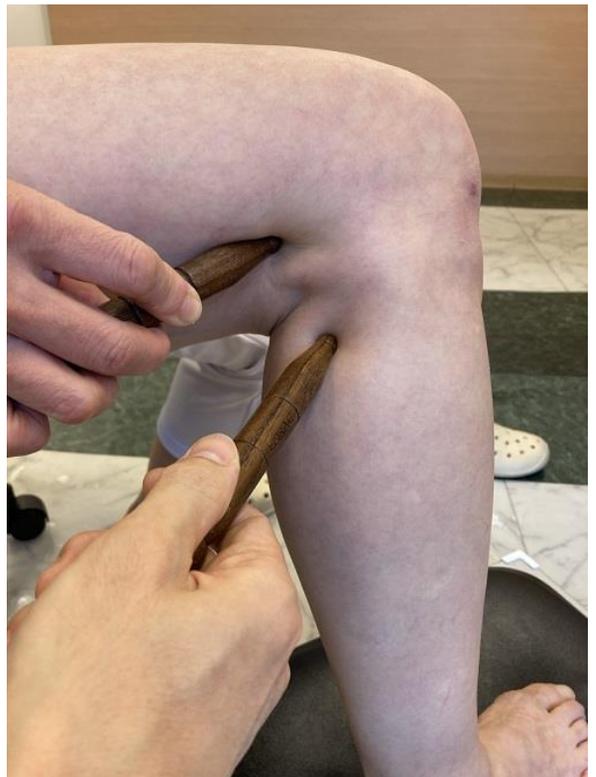
押し棒：太の細

膝関節後側。
腸脛靭帯の後縁（または大腿二頭筋内縁の陥凹部）から、大腿骨骨幹から外顆部への移行部の後外側の陥凹部を押圧する。

4

押し棒：太の細

1.膝関節後側、下腿近位端後面。
腓腹筋内側頭と外側頭の間から、脛骨近位中央後方の陥凹部を押圧する。
2.膝関節後外側。
腓腹筋外側頭の内側縁から、脛骨近位後外側の陥凹部を押圧する。



AyIII

膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもらおう

3

押し棒：太の細

C-point

下腿後側中間部、AyI/3と同レベル。
腓腹筋内側頭と外側頭の分岐部下縁を触診し、外側頭を外側に圧迫し際立たせる。
筋腱膜移行部の高さで、ヒラメ筋と腓骨後縁の間の陥凹部を押圧する。

2

押し棒：太の細

あまり使用しない。



膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもらおう

1

押し棒：太の細 ※画像なし

下腿外側面、AyI/1と同じ高さ、またはヒラメ筋の筋腱移行部の高さ。
外果の後外側縁の陥凹部を押圧する。

a

押し棒：太の細

足関節外側、外果の最隆起部後方のキワ。
外果後縁で最も深い陥凹部を押圧する。



AyIII

膝屈曲で下腿を台に垂直に立ててもら
う

bc

押し棒：細の太

足部外側面。第5中足骨基部から骨幹へ
の移行部の高さ。

第5中足骨外側から底側縁を押圧する。

c

押し棒：細の太

足部外側面。第5中足骨骨幹から骨頭部
への移行部の高さ。

第5中足骨外側から底側縁を押圧する。

